

2024 年度 文部科学省創造的教育方法実践プログラム成果報告  
(3D メタバースを活用したバーチャルキャンパス)

学校法人益田永島学園 明誠高等学校

□はじめに

本事業は、生徒が主体となり、地域の社会人や活躍する卒業生との交流から地元益田市の過疎地におけるまちづくり、魅力ある地域づくりに寄与すべく取り組んでまいりました。

1 年目は、メタバースに多くの講師をお招きし、学校現場が持っていない専門的知見を生徒に提供したことで、生徒の自尊感情の向上、能動的学習姿勢の構築に繋がった。2 年目は、前半を地域の企業との信頼構築に費やし、地域についての知識と特産品の選定を行うと共に、視野を広げるための海外交流と自己内省の構築をおこなった。

本年は、この 2 年間の生徒の取り組みを鑑みて、ICT を用いて①生徒に馴染みのあるもの（動画や SNS）②地域の人と協働創造できるもの③IT を生かした取り組み の 3 点を満たす「動画創り」をベースとした。メタバースについては、3D メタバースを用いて、表情が見えない点や誰かわからないゆえに本音を話しやすい環境であるという点に着目し、生徒の主体性を基に、今年度は ①放課後の交流の場 ②動画作りで関わっている地域の方との交流を目的に設置した。

□目的

自尊感情の向上と、能動的学習姿勢を醸成することに加え、地域に向けた IT から現実の世界への接点を持たせ、主体的行動に繋がるマインドセットの醸成を行うことを目的とする。

本事業に取り組む当該学年の実態	本事業の当該学年として、昨年度本事業の対象になった本校普通科3年生 98 名を抽出した。1 年生時には、学校の教育活動全般にわたり、受動的な態度であった生徒が 2 年時には、オンラインによる海外との交流もあり、興味関心起因の能動的な学習態度が見られるようになった。本事業において引き続き受講を望む声も多く、また、3 年間通じて受講することで継続的な効果測定・分析が可能となり、より本事業の有効性が測れ、全国での展開に有用であると考えられる。
-----------------	--

□目標

目 標	目 標 設 定 の 理 由
生徒の自尊感情の向上 能動的な姿勢の構築	ICT から現実に地域社会と関わることにより、地域の人や自分自身の中に価値を見出すことで自尊感情が向上する。また、地域の人と動画メッセージや実際の交流を通じて、安心感と貢献感が育まれ、結果として、能動的な姿勢の構築へと繋がるためである。
コーチングによる行動に繋がるマインドセットの醸成	コーチングによる自己探求により、自身の価値を認識と、行動の基礎となるコミュニケーションの礎を作り、本事業の意義を高めるものであると考えているからである。

地域の人との協働創造による人間関係への自信構築	繋がりが無かった人との協働創造は、人間関係への自信を高めるためである。
プラットフォームの開発	社会との繋がりを持ったプラットフォームとして、生徒にとっては動画作りで関わる地域の人や未知の人との関係性構築する第三の交流の場、地域の方にとっては自身の活動の広報として若い世代に広める場として開発する。
プラットフォームの周知と利用拡大	地域内外の若者へリーチしたい企業や、通信制高校などと繋げた共通の授業やイベントを開催し認知を広げていく。

□実施内容について

「行動する」をベースに、益田の地域の人々の魅力を”見つけ””知り””伝える”を通じて動画作成を行う。

6月7日 限られた高校生活

・ルワンダ在住 21歳起業家三好花奈さんより高校生活とルワンダについてお話

The screenshot shows a Zoom meeting. On the left, a video of two women, one in a pink beanie and one in a black beanie, waving. On the right, a woman in a pink beanie speaking. In the center, an infographic about Rwanda:

- 面積**: 26000km<sup>2</sup> (四国の1.5倍)
- 人口**: 1295万人 ((日本-1.258億万人) 人口密度no1)
- 公用語**: 英語, フランス語, ルワンダ語, スワヒリ語
- 有名な**: -マウンテンゴリラ, -コーヒー
- 虐殺**: 1994/04- 約100日間で約100万人以上 難民を押し出し, 多数派のツツ族が 少数派のツチ族を殺した
- IT立国**: 電子マネー発達, 固定電話なし
- ルワンダといえば**: ・千の丘, ・プラスチック禁止, ・環境大国, ・GDP成長率
- ジェンダー平等**: -女性の政治家比率6割越え 9位(121/151), -長間モ女性雇用率高例, -家で仕事せず何をしてない人も多い



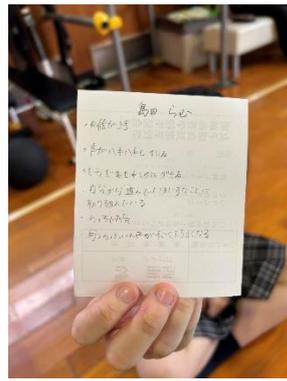
・限られた高校生活ワーク

21日間で高校生活が終わり命も終わるとしたらやりたいことは？

21個上げて命の尽きる日まで1日1個やる順番を決める。

6月11日 魅力を見つける

- ・益田のいいところ、明誠高校のいいところを時間内にいくつかけるかをチームで競う
- ・チームで1人1人のいいところをその他の人が書きこんでいく



- ・益田で子どもへの体験事業をしている大畑伸幸さんから“コミュニケーションのコツ”についてお話



6月12日 自分の魅力を伝える

- ・インプットとアウトプットについて
- ・自分の魅力の伝え方
- ・相手の心をつかむコツ



伝えることに慣れる

話す人  
 “私は人を繋ぐことが得意な玉置梨絵です。誰とでも打ち解けられるねとよく言われます。よろしくお願いします！”

聴く人  
 ニコニコうんうん相手が心地よくなる様に聴く

6月17日 地域の人とマッチング 想いを伝えてチームになる

- ・地域の人の動画を見てインタビューしたい人を1人チームで決め、なぜ一緒に動画作りをしたいかを語り想いの強い方がインタビュー権利獲得

1人のリソースパーソン×2チーム



1人のリソースパーソン×2チーム





**6月18日** ネットではわからない魅力を探る

- ・各チームで7月3日の訪問に向けて役割を決める
- ・自己紹介で自分の魅力を伝えることを練習
- ・ネットで訪問者を検索し、ネット以外で知りたいことの質問を考える

**7月3日** 訪問インタビュー①

- ・各チームそれぞれの地域の方を訪問しインタビューと撮影を行う
- ・自己紹介にて自分の魅力を伝える



**7月5日** 伝える

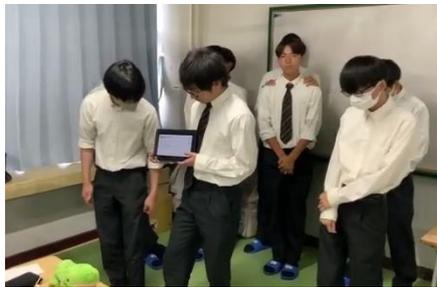
- ・聴覚障害者の佐々木優佳から”伝える“について、前半無音授業、後半発語がある授業としてお話
- ・伝える3つのコツ





**7月10日** プレゼンテーション準備&2チームでフィードバック

- ・自分たちの力で自分たちらしいプレゼンテーションを創る
- ・発表の仕方もスライドでも動画でも絵でも可
- ・1分～2分以内で完結
- ・チーム名、最初のイメージ、実際に会って知ったこと、訪問後のイメージや感じたこと、未来一緒にできることなどを内容に入れて、地域の人を入れたチーム写真も入れる



**7月12日** プレゼンテーション発表会

- ・プレゼンテーション発表
- ・それぞれの発表に地域の方からフィードバック
- ・最後に1人1票で投票（地域の参加された方、授業スタッフ、先生を含む）



## 7月16日 撮影方法のコツ

- ・プレゼンテーション投票結果発表および1票の大切さ
- ・プロの映像ディレクター・チャンソンより撮影技法の講義
- ・撮られる側として撮影に興味のある生徒による明誠CM出演体験 (NHK・ひとまるビジョンの撮影が入る)

**投票率は…?**



生徒 99名中66名既読 (選挙に関心のある人)  
→66名中60名 (投票所に行く人=行動する人)

先生 4人中1名 (全ての候補者を見た)  
リソースパーソン 6名中6名 (投票時間に投票した)  
めぐみみりえ 2名中2名

**111名中69名=62.2%**

**1位**  
**右田さんチーム**  
**17 (16+1) 票**




お酒の作り方を動画や音声で流して  
わかりやすかったし面白かった

どういう仕事をしているかわかりやすい

動画が面白かったし右田さんの話をまとめて見てやすかった

**大切な1票**

- ・参加すると…  
**結果に興味が湧く**
- ・興味の別れる年代が参加すると…  
**結果に影響する**
- ・未来を創るみんなが“参加”すると…  
**未来は変わる**



## 7月17日 絵コンテの描き方

- ・15秒動画のための絵コンテの描き方
- ・チャンソンさんより絵コンテのフィードバック

シ	ロ	絵コンテ	アクション	サウンド	タイム
1	0				
2	0				
3	0				
4	0				
5	0				

シ	ロ	絵コンテ	アクション	サウンド	タイム
1	0				
2	0				
3	0				
4	0				
5	0				



8月27日 訪問インタビュー②

- ・絵コンテに必要な追加の撮影インタビュー



9月2日 シャンソンさんからの15秒動画のフィードバック



9月3日 発表会

- ・地域の方、オンラインで外部の人が参加する中で発表会
- ・投票をして上位3チームを表彰



## 9月24日 授業振り返り

- ・6月からの授業を振り返りそれぞれの印象に残っているところとその理由を書き出すワーク
- ・自分の価値観をその理由から見つける

### 伝える→伝わる

プレゼン⇒対象者100人程度  
プレゼン発表会参加者  
明誠高等学校の3年生・先生・発表会参加リソバ・めぐみ・リエ

インスタ⇒対象者約1700人～3000人  
インスタで対象者が 広がる＆興味のある人を見る  
+明誠高等学校のInstagramフォロワー  
+シェア＆タグ付けされた人からのフォロワー  
+誰かが話したことで知ったから見た人もいるかも？

### 伝えるから伝わる

最初に伝える人がいて⇒届く先が広がり伝わる

学校内⇒学校外&Instagram  
⇒ロコミから見に来る  
⇒ハッシュタグ（分析）&フォロワーから見に来る

タグ付けられた人の日頃の発信力

伝わる（知られる）=人との相乗効果&偶然性も関係する

### 広い世界=社会で 自分を知ってもらうために

日々コツコツアピール（発信 伝える 行動する）



〈棚からぼたもち〉ラッキーは動いてくるからやってくる

### 出来ないのではなく 慣れてないだけ



<ワークシート内容> 以下のそれぞれについて、「印象に残っていること」と「その理由」を書き出す

- ① 「限りある高校生活」 ルワンダに行ったきっかけ 高校生ということを生かす ランドリー（母親を5歳で亡くしストリートチルドレン）
- ② いいところ・リソースを書き出す@柔道場（益田のいいところは？明誠のいいところは？グループの人のいいところは？）
- ③ 大畑先生のお話「地域の人とのコミュニケーションのコツ」@柔道場
- ④ リソースパーソンと初対面@動画&どの人とやりたいかをチームごとにアピール合戦
- ⑤ リソースパーソンへの1回目の訪問（7月）
- ⑥ 音のない授業 佐々木優佳の「伝えるとは」の講義
- ⑦ プレゼン作り&プレゼン発表会
- ⑧ シャンソンさんの授業（撮影の仕方・CM作成・テレビ取材・絵コンテ作成など）
- ⑨ 8月末の2回目の訪問（絵コンテに必要な撮影&インタビュー）
- ⑩ 15秒動画作り&シャンソンさんのフィードバック
- ⑪ 動画発表会@体育館 暑かった…（暑かった以外の感想をお願いします）
- ⑫ ①～⑪の自分が書いた「なぜなら…」をもう一度全て読んで、改めて、感じたこと、気が付いたことなどを自由に書いてください。

<ワークシートの下にメッセージ>

なぜなら…という理由はそれぞれ違います。そこはあなたらしさが出てくる場所です。正解はないです。

そのあなたらしさを、これからの面接や社会の中で自分らしさをアピールする場面で是非、伝えてみてください。

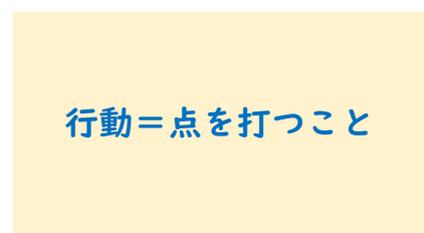
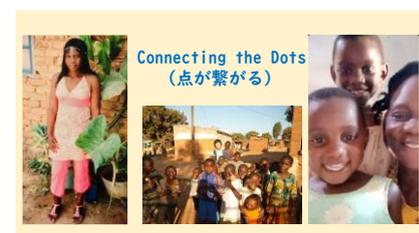
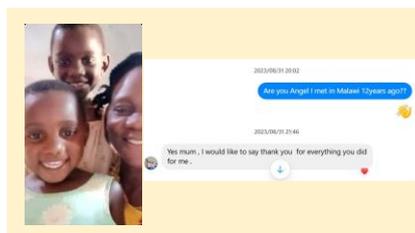
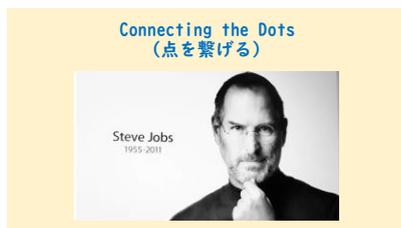
明誠高等学校の卒業生はたくさんいます。これから先は社会というさらに多くの人の中に入っていく年齢です。

体験や経験から得た、あなたの価値観（何を大切にしているのか・何が好きなのか・それはなぜなのか=地域の人へのインタビューでやったこと）を伝えることで相手はあなたのことを深く知り、その上で何を一緒にできるか、何を頼めるか、関係性を創っていきたくいかを考えます。あなたらしさを伝えることはあなたの可能性を広げることになります。

是非、なぜなら…を書いて気づいたことを書いてみてくださいね！

## 9月25日 行動する

- ・玉置梨絵の自らのストーリーから行動するというお話
- ・6月～9月までの授業に関わったゲスト、地域の人、オンライン配信スタッフからの生徒へのメッセージ動画
- ・お話とメッセージ動画について感想を書く



### <アンケート内容>

- ① 玉置梨絵のお話「行動する」の感想
- ② 何かしら行動をすると自分の未来はどんな風になると思いますか？それはなぜですか？
- ③ 行動する勇気が出ない時、行動して失敗した時のために何が必要だと思いますか？それはなぜですか？
- ④ 安心安全な残りの高校生活はどのように過ごしますか？それはなぜですか？
- ⑤ 1月～3月のフィリピンと繋いだ授業と6月～9月の動画の授業はどちらが好きですか？それはなぜですか？
- ⑥ 玉置へのメッセージをください。いい点・改善点など何でも！これからの私の力にしたいです。
- ⑦ ゲストの方、オンライン配信スタッフの方、地域の方からのビデオメッセージの感想

### ※アンケートの最後のメッセージ

上手くいっている時はそのままいい。上手くいかないときは何か違うことを。そうすると結果が変わる可能性がある。失敗は経験という名の成功への糧。しんどい時、辛いときは是非、立ち止まって、余裕のある人や経験者に相談してください。そうして私も先生たちも今回のゲストも地域の人も歩んできたから。また益田で、東京で、世界で一緒に過ごしましょう！未来、一緒に仕事する日を楽しみにしています！

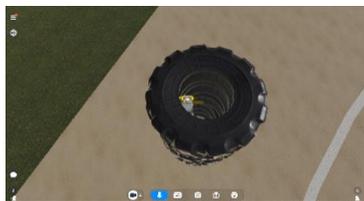
7月4日 メタバース①

- ・仮想空間の学校で遊ぼう
- ・相談会
- ・次回やってみたいこと→鬼ごっこ



7月11日 メタバース②

- ・校庭鬼ごっこ&かくれんぼ



7月25日 メタバース③

- ・島から廃墟病院を探検



8月8日 メタバース④

- ・相談時間
- ・黒ひげ危機一髪でチームビルディング



8月22日 メタバース⑤

- ・風船銃対決で遊ぶ
- ・黒ひげ危機一髪でチームビルディング



9月26日 メタバース⑦

- ・バーチャル空間（ワールド）を創る
- ・次回、動画を流すための空間創りを行う



10月17日 メタバース⑧

- ・普通科3年生の作成した地域の人の魅力を伝える動画をバーチャル空間内で鑑賞
- ・バーチャル空間でこれまで何が楽しかったかなど感想共有



11月13日 リアル交流⑨

- ・Mラボに実際に集合し、対面で自己紹介。
- ・初めて本名を伝える
- ・キャリアなど相談



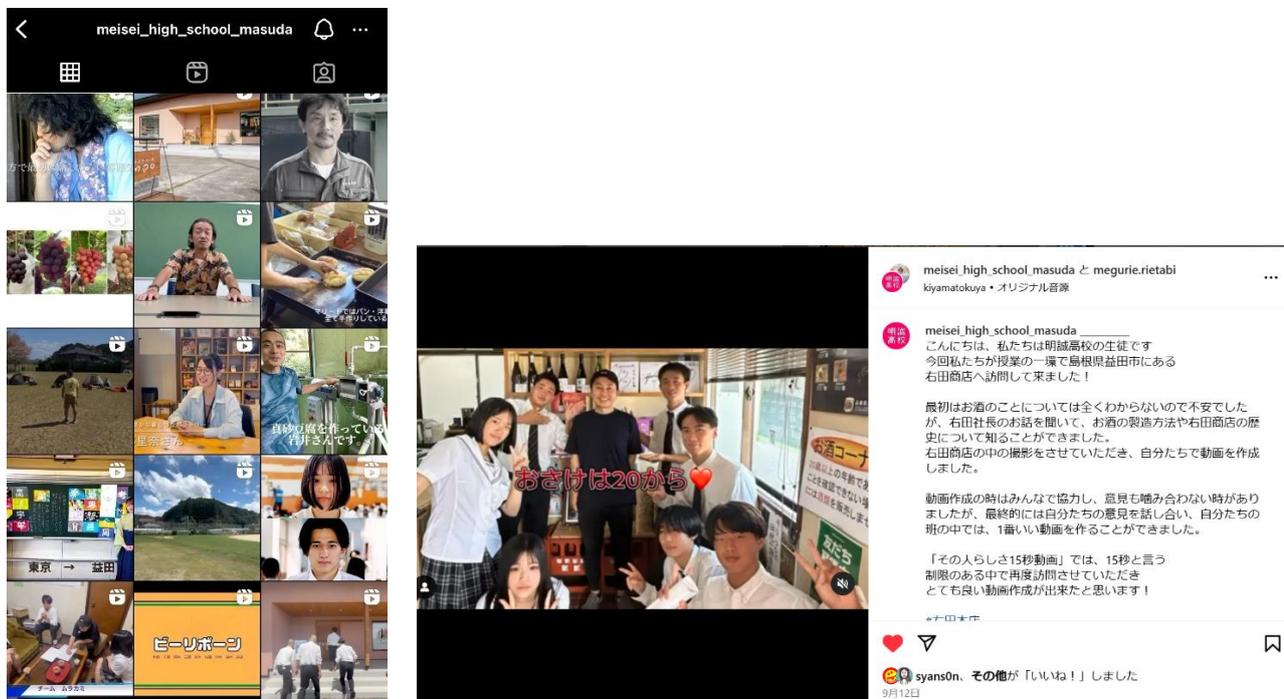
〈地域での広がり〉

- ・生徒の取り組みをNHK及びひとまるビジョンが放映



- ・各チームの地域の方の動画を明誠高校のinstagramに投稿（希望者は共同投稿とした）

[益田永島学園 明誠高等学校\(@meisei\\_high\\_school\\_masuda\)](https://www.instagram.com/meisei_high_school_masuda) • Instagram 写真と動画



・観光協会サイネージに12チームの動画を生徒が編集し、9月24日～10月31日まで約1か月半放映された。明誠高校 Instagram でも放映について投稿。



・市役所 HP への授業概要動画掲載（動画は公募し立候補した生徒が編集）  
[明誠高等学校の生徒が益田の人の”その人らしさ”を伝える - ますだのひと](#)



## □アンケート結果

### 概要

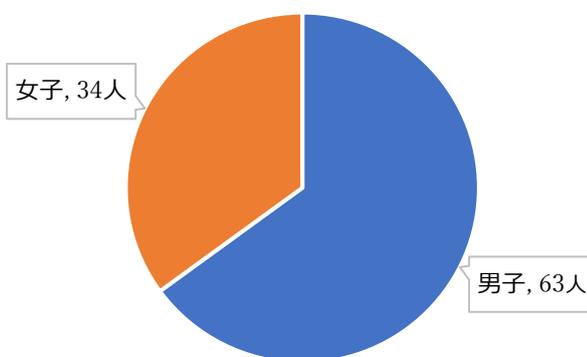
第1回～第4回の回数を経ることによる変化について分析した。

- ・ほとんどの質問項目において回数を経ることによる変化が検出された。
- ・そのほとんどはポジティブな変化であり、3回目の時点で明らかな変化が見られるものや、4回目に至って変化が見られるものなど、様々な変化がうかがえる。
- ・一方で、「Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。」や「Q18. 本音を話せる人がある」については、途中の段階でネガティブな回答の割合が増える様子も見受けられた。その実際の難しさを実感すること等を通してネガティブな反応が生じた可能性がうかがえる。

### 1. 単純集計

Q1. 性別を教えてください。

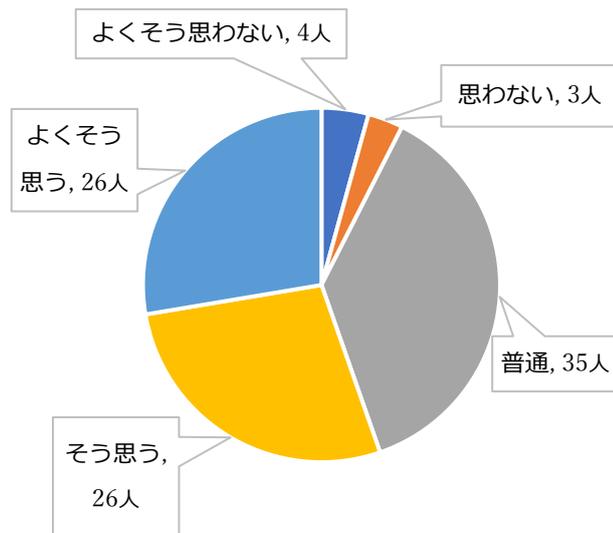
	度数	割合
男子	63	64.9%
女子	34	35.1%
合計	97	100.0%



【1回目の回答】

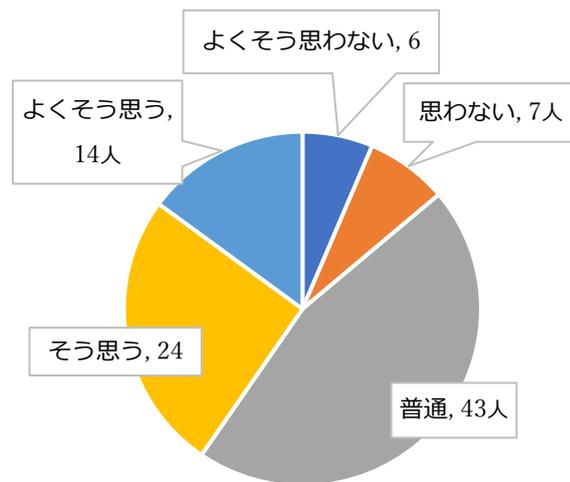
Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う（1回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.3%
思わない(2)	3	3.2%
普通(3)	35	37.2%
そう思う(4)	26	27.7%
よくそう思う(5)	26	27.7%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



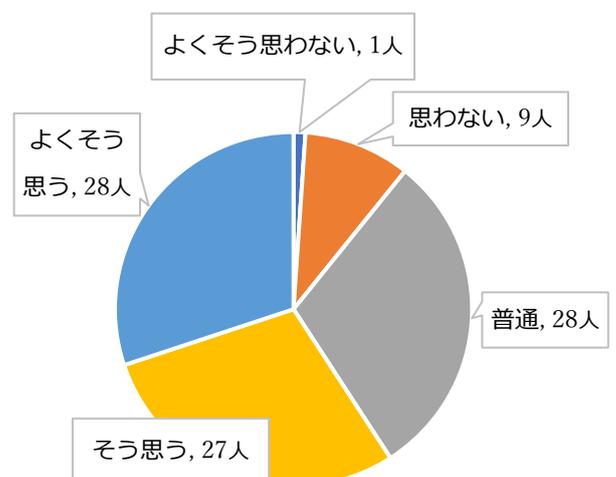
Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている（1回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	6	6.4%
思わない(2)	7	7.4%
普通(3)	43	45.7%
そう思う(4)	24	25.5%
よくそう思う(5)	14	14.9%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



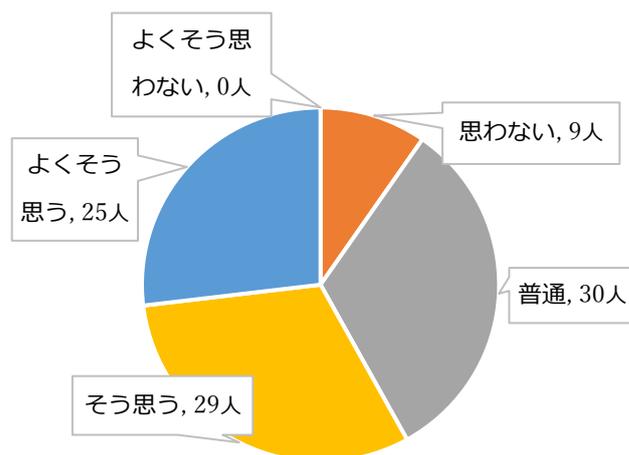
Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う（1回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	9	9.7%
普通(3)	28	30.1%
そう思う(4)	27	29.0%
よくそう思う(5)	28	30.1%
合計	93	100.0%
欠測値 N	4	



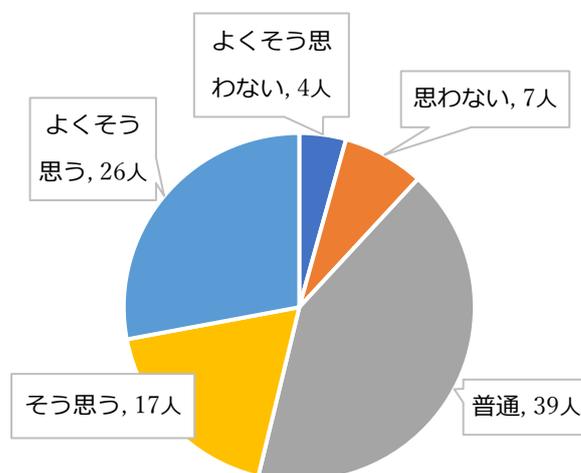
Q5. 痛みを感じた時に、自分をいたわる為にできる何かがある (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	9	9.7%
普通(3)	30	32.3%
そう思う(4)	29	31.2%
よくそう思う(5)	25	26.9%
合計	93	100.0%
欠測値 N	4	



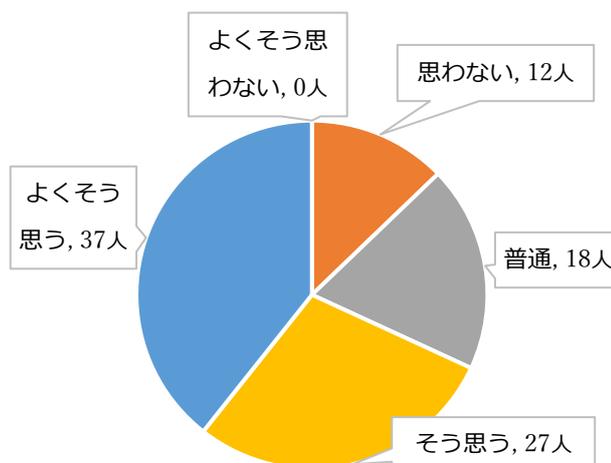
Q6. 偏見をつまらないものだと感じる (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.3%
思わない(2)	7	7.5%
普通(3)	39	41.9%
そう思う(4)	17	18.3%
よくそう思う(5)	26	28.0%
合計	93	100.0%
欠測値 N	4	



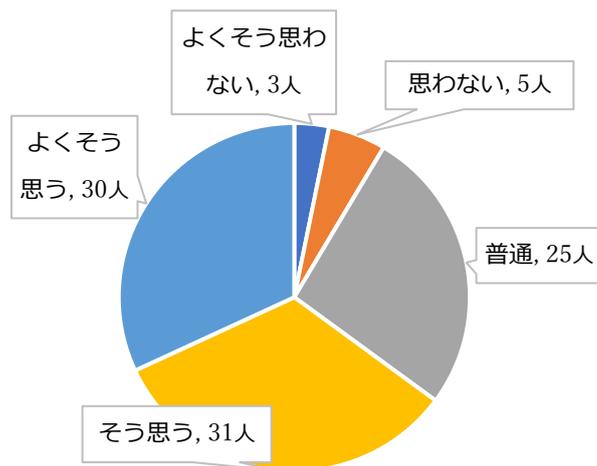
Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	12	12.8%
普通(3)	18	19.1%
そう思う(4)	27	28.7%
よくそう思う(5)	37	39.4%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



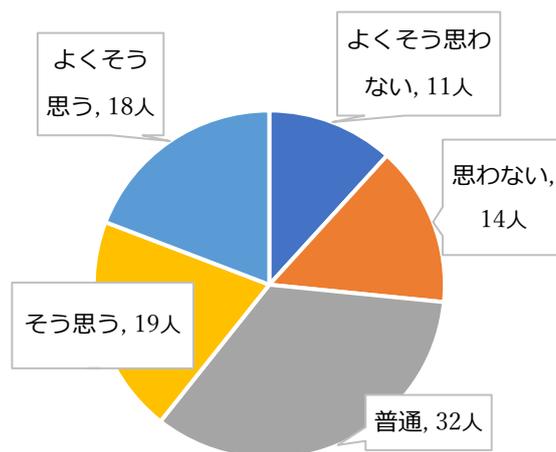
Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている（1回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.2%
思わない(2)	5	5.3%
普通(3)	25	26.6%
そう思う(4)	31	33.0%
よくそう思う(5)	30	31.9%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



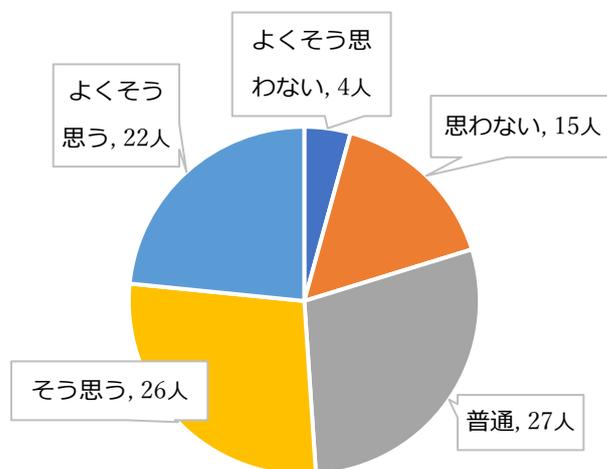
Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている（1回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	11	11.7%
思わない(2)	14	14.9%
普通(3)	32	34.0%
そう思う(4)	19	20.2%
よくそう思う(5)	18	19.1%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



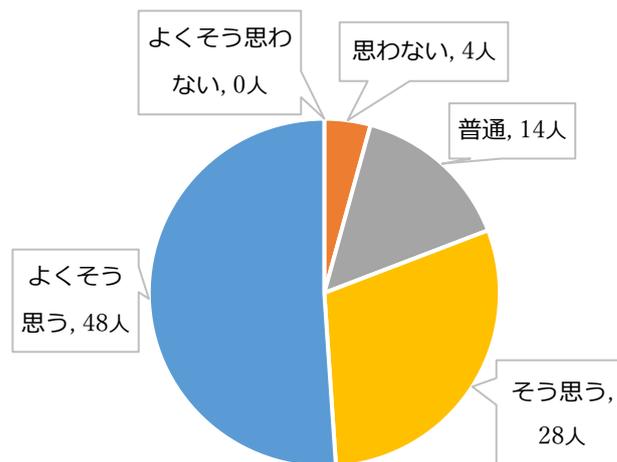
Q10. 感情的になることが少なくなった（1回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.3%
思わない(2)	15	16.0%
普通(3)	27	28.7%
そう思う(4)	26	27.7%
よくそう思う(5)	22	23.4%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



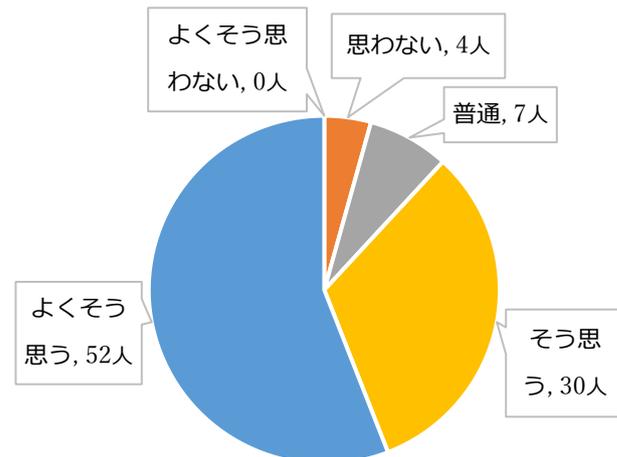
Q11. 色々な人とコミュニケーションを取ることが自分の人生に有効であると思う (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	4	4.3%
普通(3)	14	14.9%
そう思う(4)	28	29.8%
よくそう思う(5)	48	51.1%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



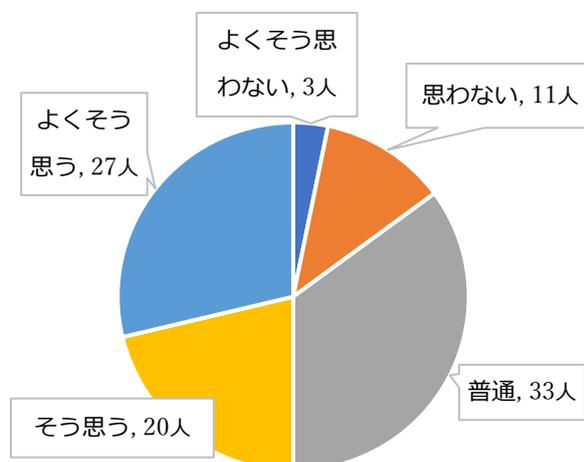
Q12. 初めてのことで回数を重ねると出来るようになると思う (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	4	4.3%
普通(3)	7	7.5%
そう思う(4)	30	32.3%
よくそう思う(5)	52	55.9%
合計	93	100.0%
欠測値 N	4	



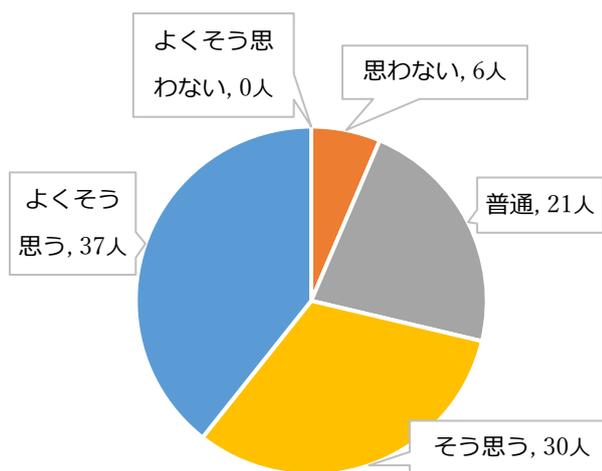
Q13. 自分が知らない世界に興味が出た (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.2%
思わない(2)	11	11.7%
普通(3)	33	35.1%
そう思う(4)	20	21.3%
よくそう思う(5)	27	28.7%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



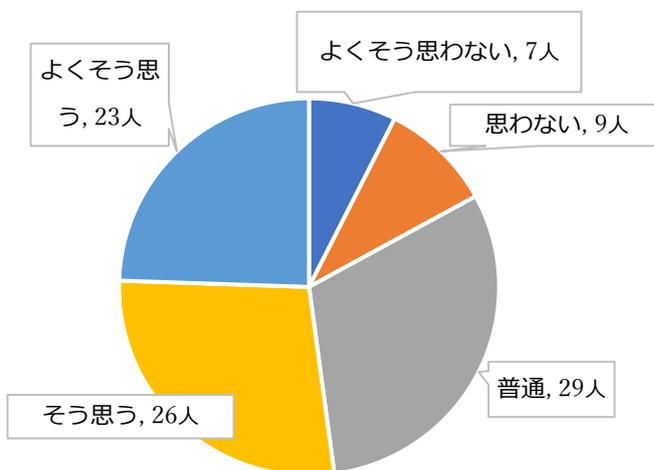
Q14. 色々な価値観があることを理解できるようになった (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	6	6.4%
普通(3)	21	22.3%
そう思う(4)	30	31.9%
よくそう思う(5)	37	39.4%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



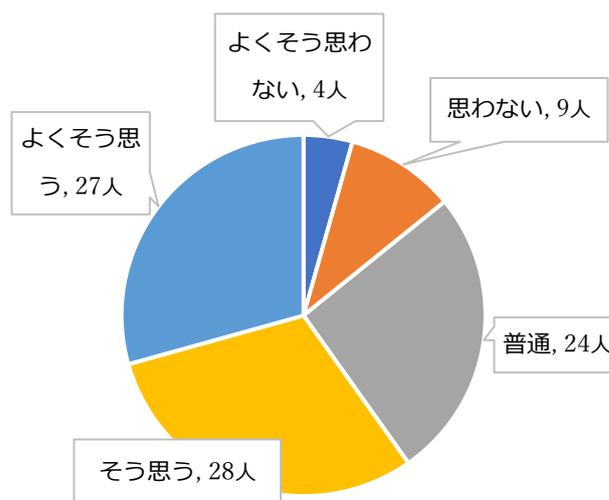
Q15. 言葉が通じなくても楽しめる (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	7	7.4%
思わない(2)	9	9.6%
普通(3)	29	30.9%
そう思う(4)	26	27.7%
よくそう思う(5)	23	24.5%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



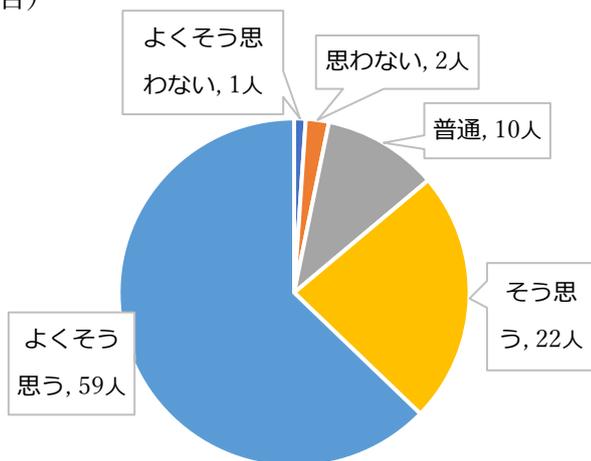
Q16. みんなと協力することが好きだ (1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.3%
思わない(2)	9	9.8%
普通(3)	24	26.1%
そう思う(4)	28	30.4%
よくそう思う(5)	27	29.3%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



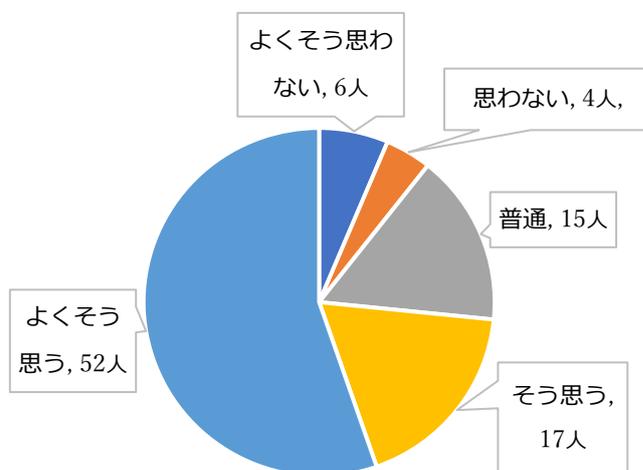
Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。(1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	2	2.1%
普通(3)	10	10.6%
そう思う(4)	22	23.4%
よくそう思う(5)	59	62.8%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



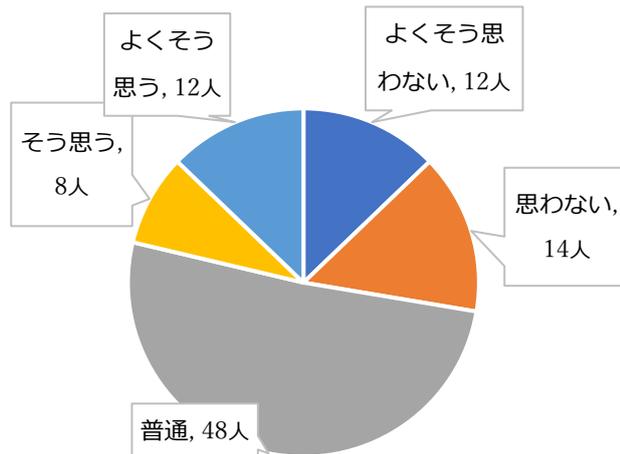
Q18. 本音を話せる人がある(1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	6	6.4%
思わない(2)	4	4.3%
普通(3)	15	16.0%
そう思う(4)	17	18.1%
よくそう思う(5)	52	55.3%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



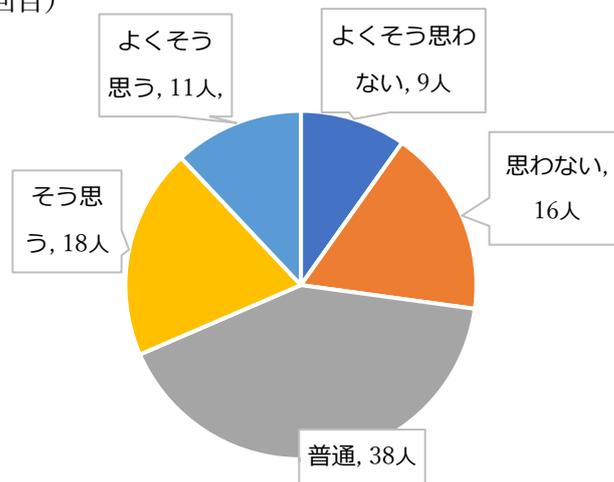
Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。(1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	12	12.8%
思わない(2)	14	14.9%
普通(3)	48	51.1%
そう思う(4)	8	8.5%
よくそう思う(5)	12	12.8%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



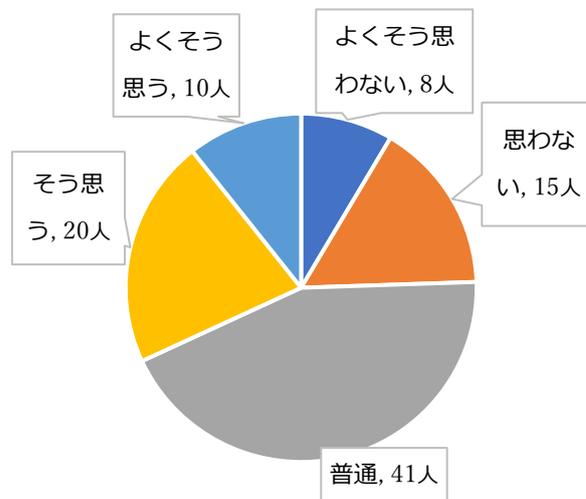
Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。(1回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	9	9.8%
思わない(2)	16	17.4%
普通(3)	38	41.3%
そう思う(4)	18	19.6%
よくそう思う(5)	11	12.0%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



Q21. 相談を受けることが多い(1回目)

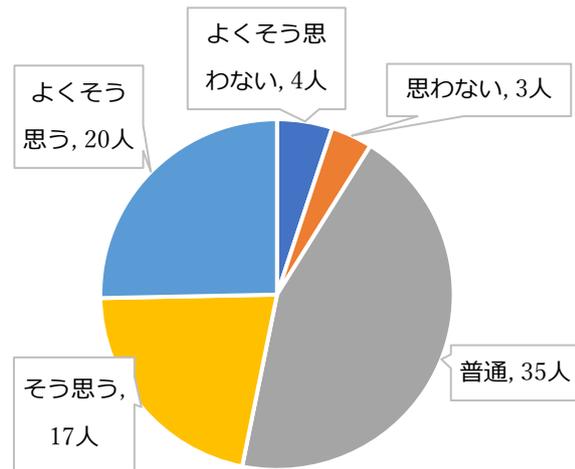
	度数	割合
よくそう思わない(1)	8	8.5%
思わない(2)	15	16.0%
普通(3)	41	43.6%
そう思う(4)	20	21.3%
よくそう思う(5)	10	10.6%
合計	94	100.0%
欠測値 N	3	



【2回目の回答】

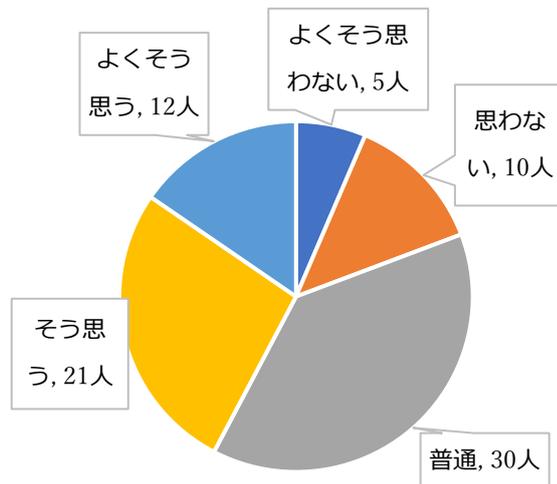
Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う（2回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	5.1%
思わない(2)	3	3.8%
普通(3)	35	44.3%
そう思う(4)	17	21.5%
よくそう思う(5)	20	25.3%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



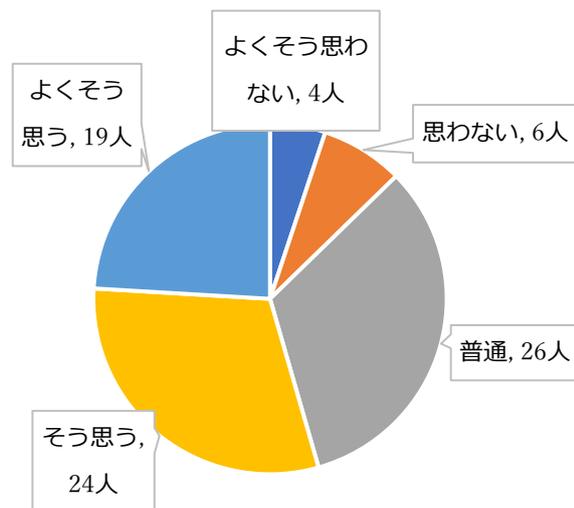
Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている（2回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	5	6.4%
思わない(2)	10	12.8%
普通(3)	30	38.5%
そう思う(4)	21	26.9%
よくそう思う(5)	12	15.4%
合計	78	100.0%
欠測値 N	19	



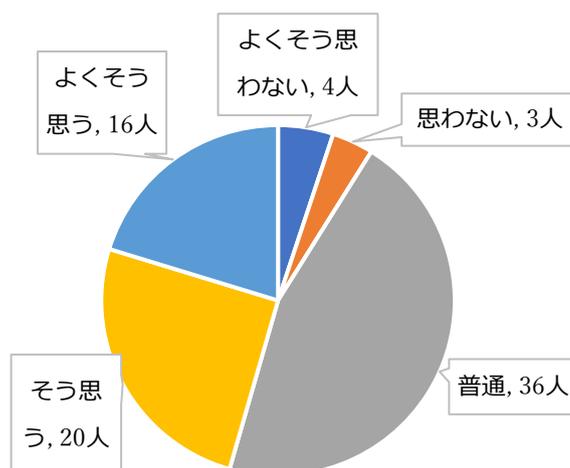
Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う（2回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	5.1%
思わない(2)	6	7.6%
普通(3)	26	32.9%
そう思う(4)	24	30.4%
よくそう思う(5)	19	24.1%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



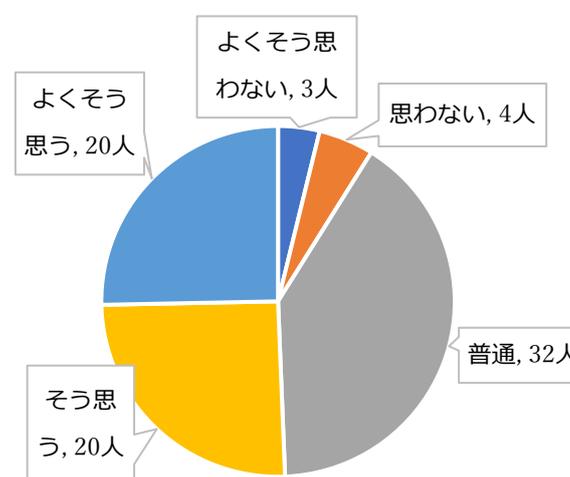
Q5. 痛みを感じた時に、自分をいたわる為にできる何かがある (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	5.1%
思わない(2)	3	3.8%
普通(3)	36	45.6%
そう思う(4)	20	25.3%
よくそう思う(5)	16	20.3%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



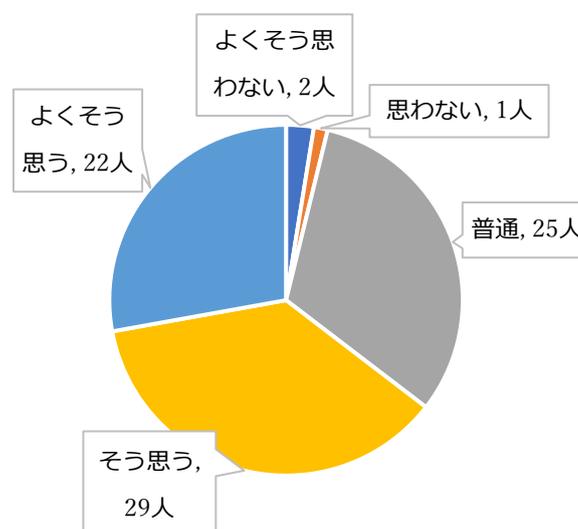
Q6. 偏見をつまらないものだと感じる (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.8%
思わない(2)	4	5.1%
普通(3)	32	40.5%
そう思う(4)	20	25.3%
よくそう思う(5)	20	25.3%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



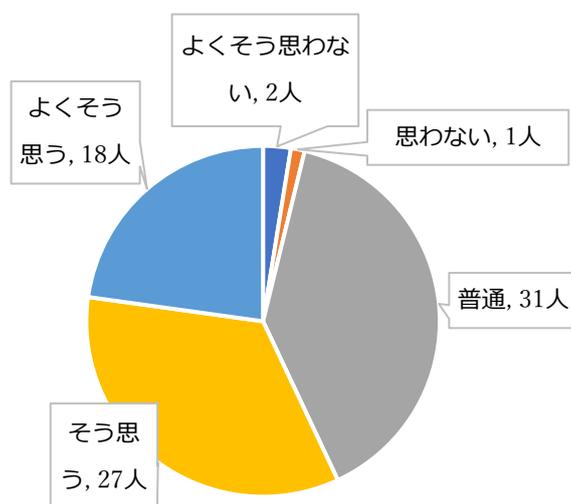
Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.5%
思わない(2)	1	1.3%
普通(3)	25	31.6%
そう思う(4)	29	36.7%
よくそう思う(5)	22	27.8%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



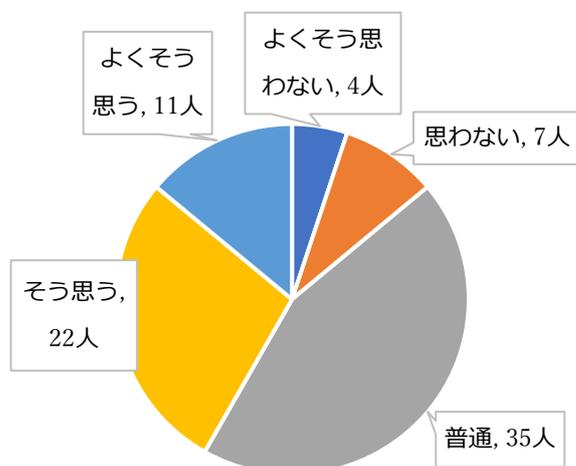
Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.5%
思わない(2)	1	1.3%
普通(3)	31	39.2%
そう思う(4)	27	34.2%
よくそう思う(5)	18	22.8%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



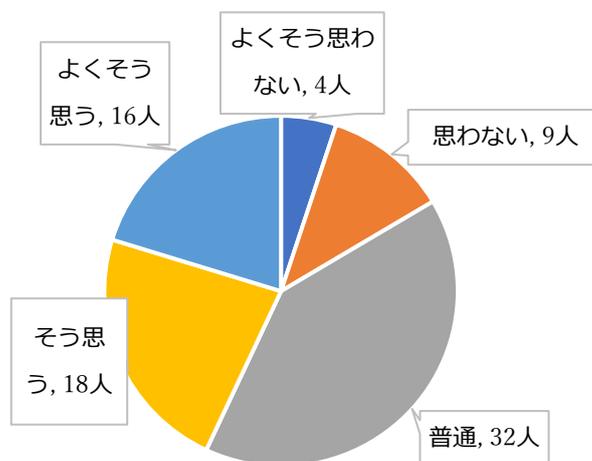
Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	5.1%
思わない(2)	7	8.9%
普通(3)	35	44.3%
そう思う(4)	22	27.8%
よくそう思う(5)	11	13.9%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



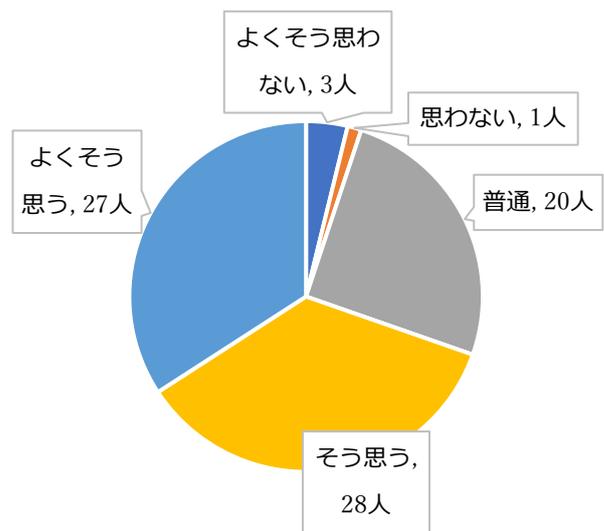
Q10. 感情的になることが少なくなった (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	5.1%
思わない(2)	9	11.4%
普通(3)	32	40.5%
そう思う(4)	18	22.8%
よくそう思う(5)	16	20.3%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



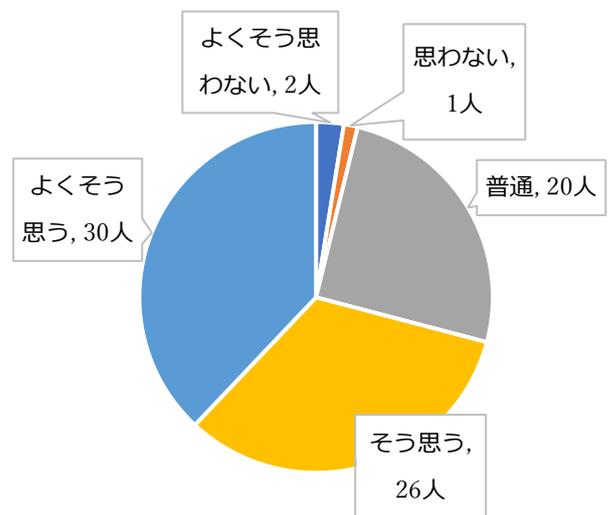
Q11. 色々な人とコミュニケーションを取るとは自分の人生に有効であると思う (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.8%
思わない(2)	1	1.3%
普通(3)	20	25.3%
そう思う(4)	28	35.4%
よくそう思う(5)	27	34.2%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



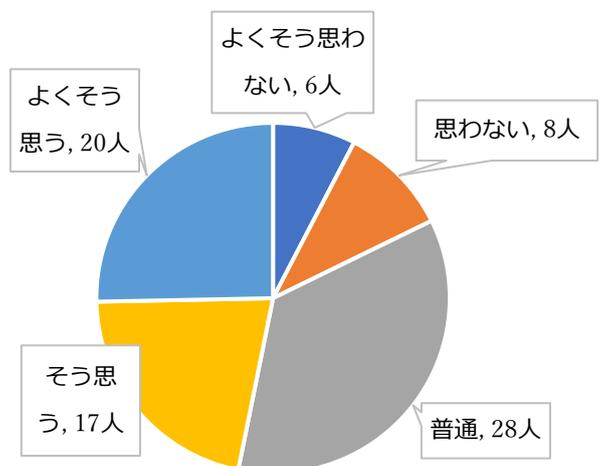
Q12. 初めてのことで回数を重ねると出来るようになると思う (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.5%
思わない(2)	1	1.3%
普通(3)	20	25.3%
そう思う(4)	26	32.9%
よくそう思う(5)	30	38.0%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



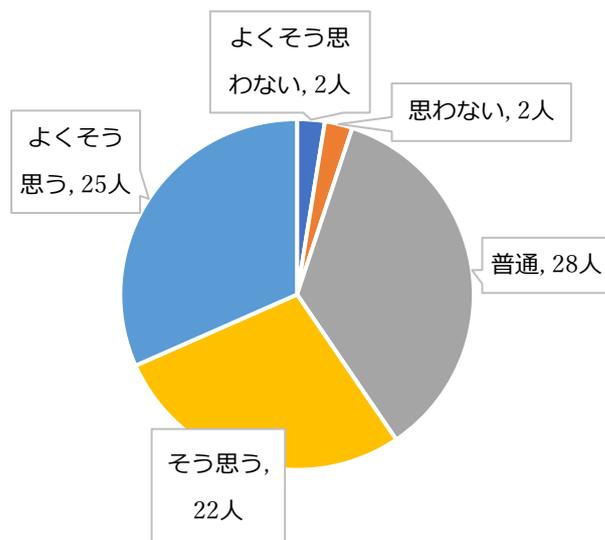
Q13. 自分が知らない世界に興味が出た (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	6	7.6%
思わない(2)	8	10.1%
普通(3)	28	35.4%
そう思う(4)	17	21.5%
よくそう思う(5)	20	25.3%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



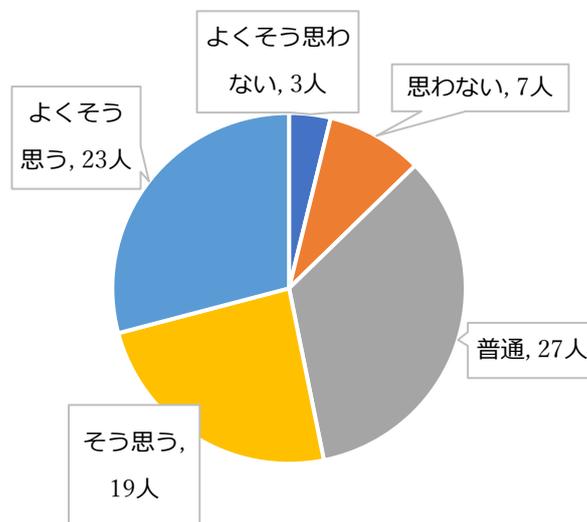
Q14. 色々な価値観があることを理解できるようになった (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.5%
思わない(2)	2	2.5%
普通(3)	28	35.4%
そう思う(4)	22	27.8%
よくそう思う(5)	25	31.6%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



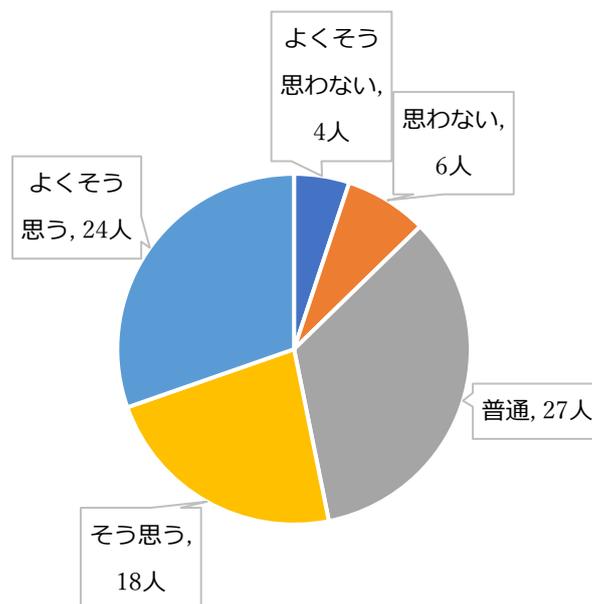
Q15. 言葉が通じなくても楽しめる (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.8%
思わない(2)	7	8.9%
普通(3)	27	34.2%
そう思う(4)	19	24.1%
よくそう思う(5)	23	29.1%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



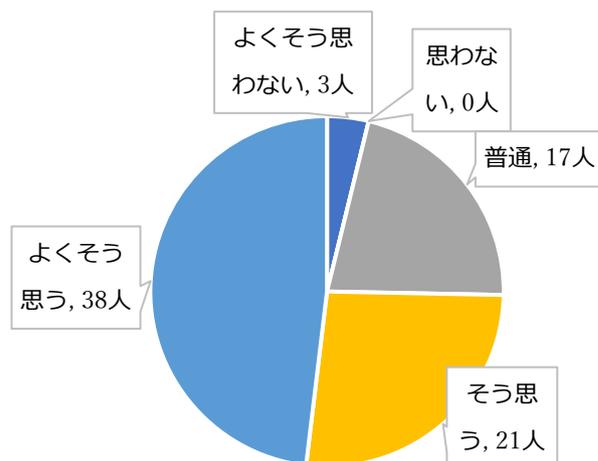
Q16. みんなと協力することが好きだ (2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	5.1%
思わない(2)	6	7.6%
普通(3)	27	34.2%
そう思う(4)	18	22.8%
よくそう思う(5)	24	30.4%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



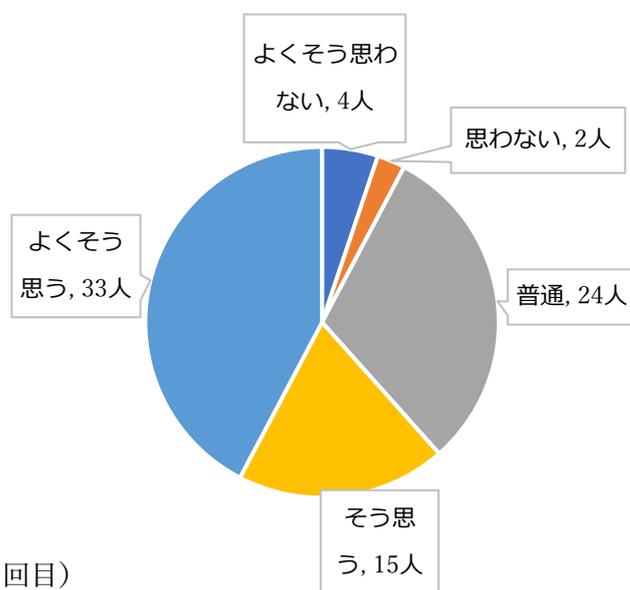
Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。(2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.8%
思わない(2)	0	0.0%
普通(3)	17	21.5%
そう思う(4)	21	26.6%
よくそう思う(5)	38	48.1%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



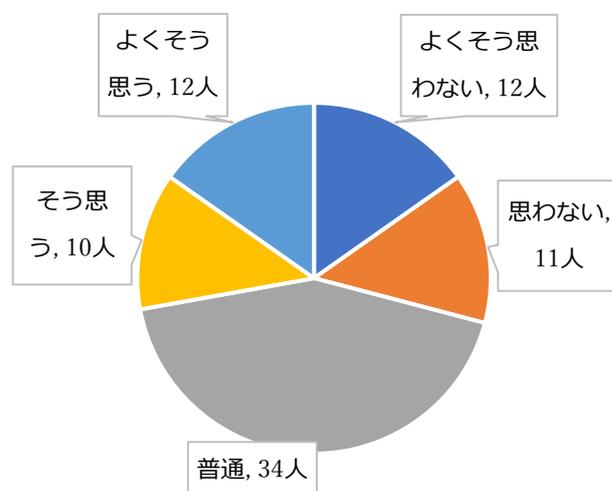
Q18. 本音を話せる人がいる(2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	5.1%
思わない(2)	2	2.6%
普通(3)	24	30.8%
そう思う(4)	15	19.2%
よくそう思う(5)	33	42.3%
合計	78	100.0%
欠測値 N	19	



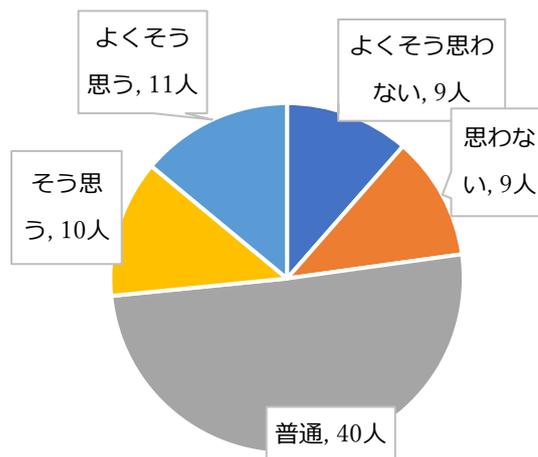
Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。(2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	12	15.2%
思わない(2)	11	13.9%
普通(3)	34	43.0%
そう思う(4)	10	12.7%
よくそう思う(5)	12	15.2%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



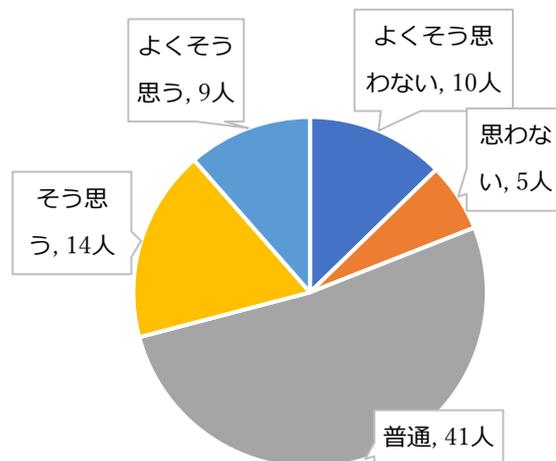
Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。(2回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	9	11.4%
思わない(2)	9	11.4%
普通(3)	40	50.6%
そう思う(4)	10	12.7%
よくそう思う(5)	11	13.9%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



Q21. 相談を受けることが多い(2回目)

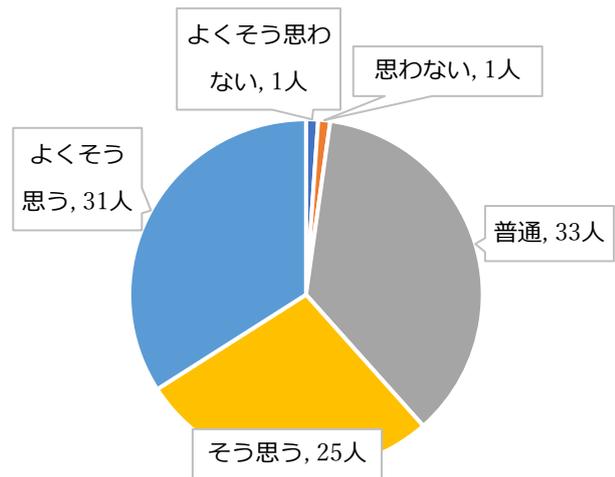
	度数	割合
よくそう思わない(1)	10	12.7%
思わない(2)	5	6.3%
普通(3)	41	51.9%
そう思う(4)	14	17.7%
よくそう思う(5)	9	11.4%
合計	79	100.0%
欠測値 N	18	



【3回目の回答】

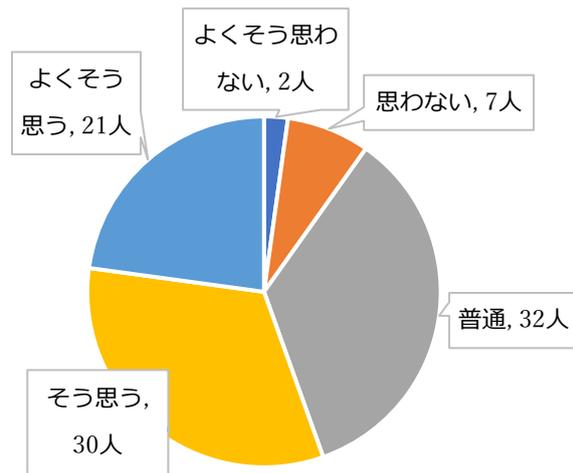
Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う（3回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	1	1.1%
普通(3)	33	36.3%
そう思う(4)	25	27.5%
よくそう思う(5)	31	34.1%
合計	91	100.0%
欠測値 N	6	



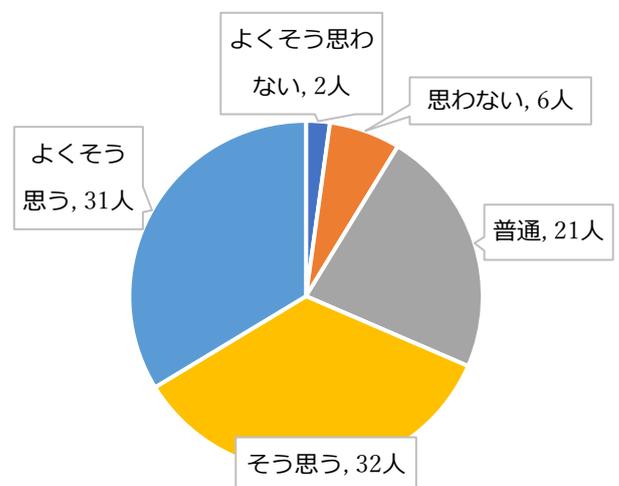
Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている（3回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.2%
思わない(2)	7	7.6%
普通(3)	32	34.8%
そう思う(4)	30	32.6%
よくそう思う(5)	21	22.8%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



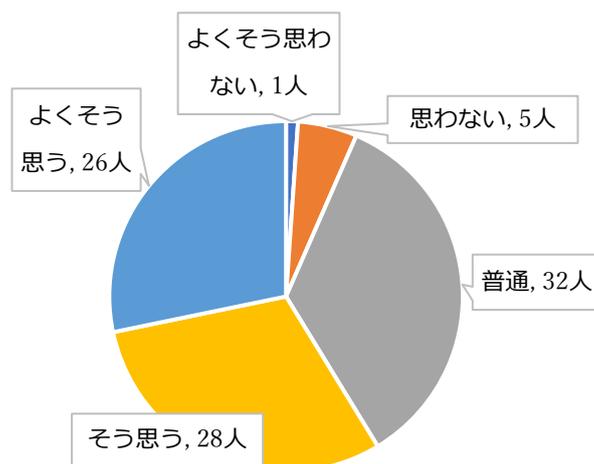
Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う（3回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.2%
思わない(2)	6	6.5%
普通(3)	21	22.8%
そう思う(4)	32	34.8%
よくそう思う(5)	31	33.7%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



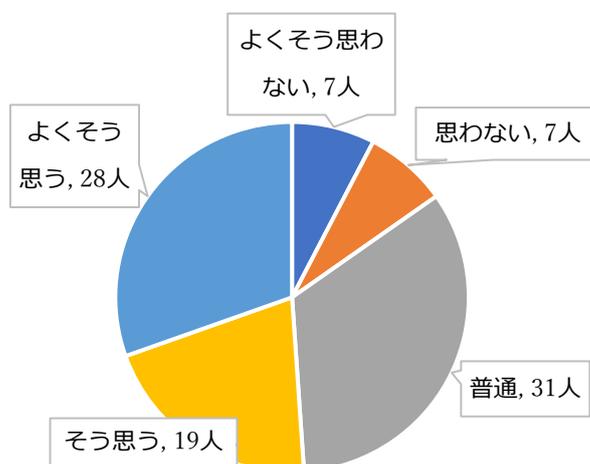
Q5. 痛みを感じた時に、自分をいたわる為にできる何かがある (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	5	5.4%
普通(3)	32	34.8%
そう思う(4)	28	30.4%
よくそう思う(5)	26	28.3%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



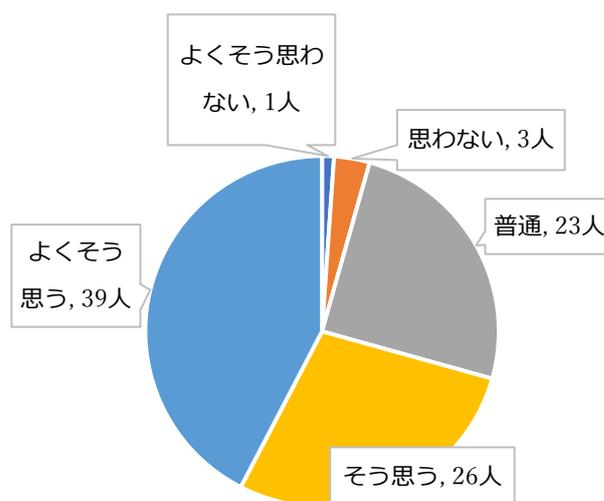
Q6. 偏見をつまらないものだと感じる (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	7	7.6%
思わない(2)	7	7.6%
普通(3)	31	33.7%
そう思う(4)	19	20.7%
よくそう思う(5)	28	30.4%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



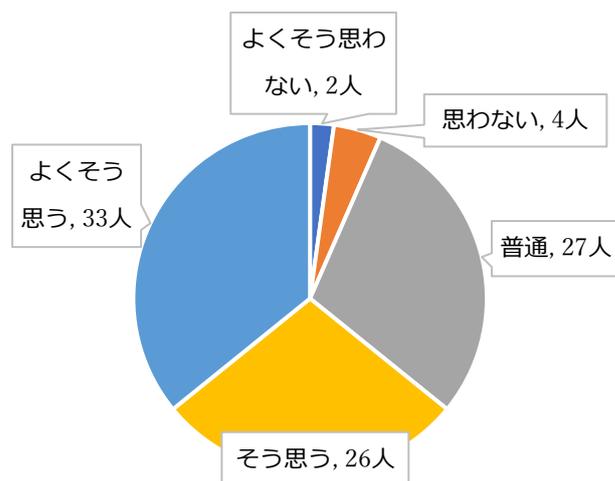
Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	3	3.3%
普通(3)	23	25.0%
そう思う(4)	26	28.3%
よくそう思う(5)	39	42.4%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



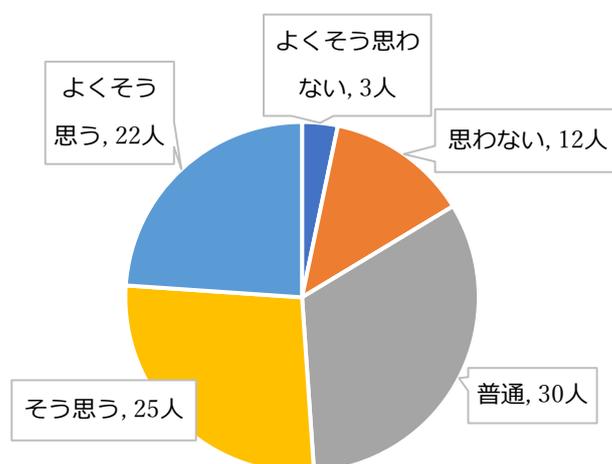
Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.2%
思わない(2)	4	4.3%
普通(3)	27	29.3%
そう思う(4)	26	28.3%
よくそう思う(5)	33	35.9%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



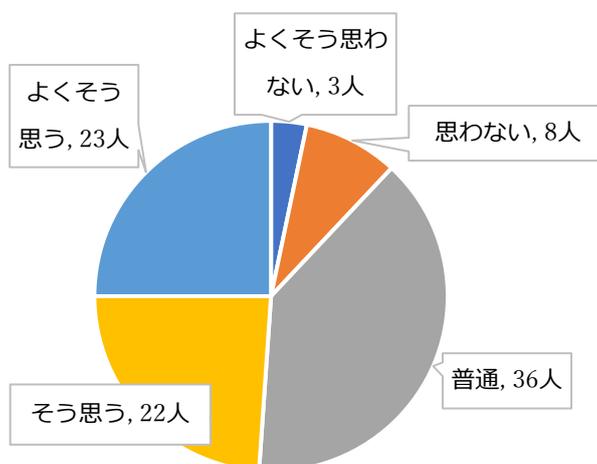
Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.3%
思わない(2)	12	13.0%
普通(3)	30	32.6%
そう思う(4)	25	27.2%
よくそう思う(5)	22	23.9%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



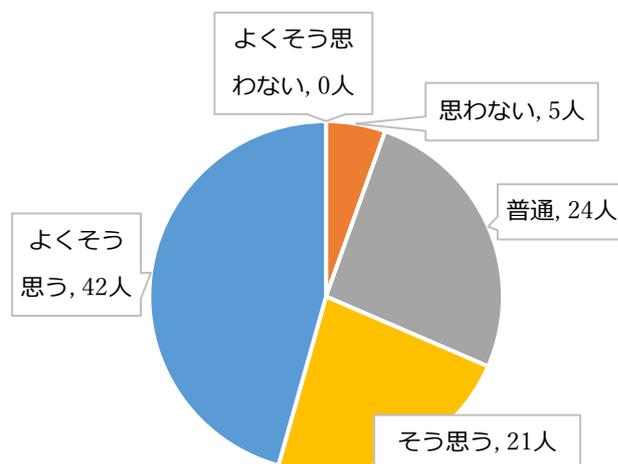
Q10. 感情的になることが少なくなった (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.3%
思わない(2)	8	8.7%
普通(3)	36	39.1%
そう思う(4)	22	23.9%
よくそう思う(5)	23	25.0%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



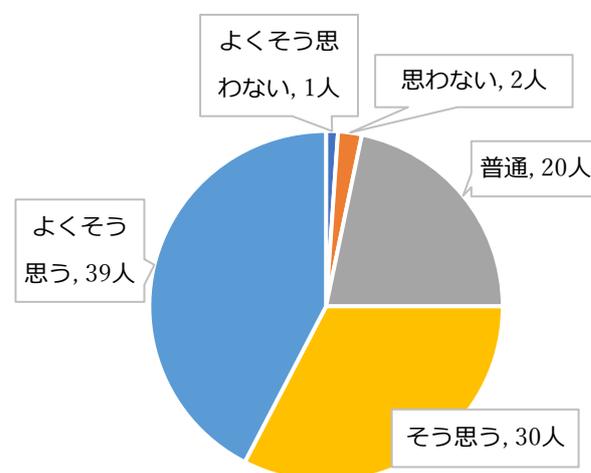
Q11. 色々な人とコミュニケーションを取るとは自分の人生に有効であると思う (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	5	5.4%
普通(3)	24	26.1%
そう思う(4)	21	22.8%
よくそう思う(5)	42	45.7%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



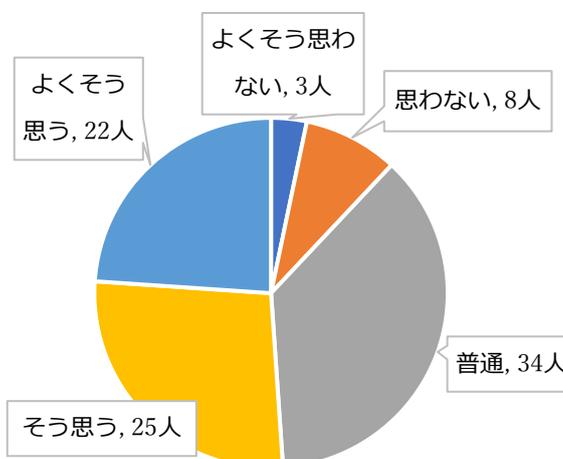
Q12. 初めてのことで回数を重ねると出来るようになると思う (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	2	2.2%
普通(3)	20	21.7%
そう思う(4)	30	32.6%
よくそう思う(5)	39	42.4%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



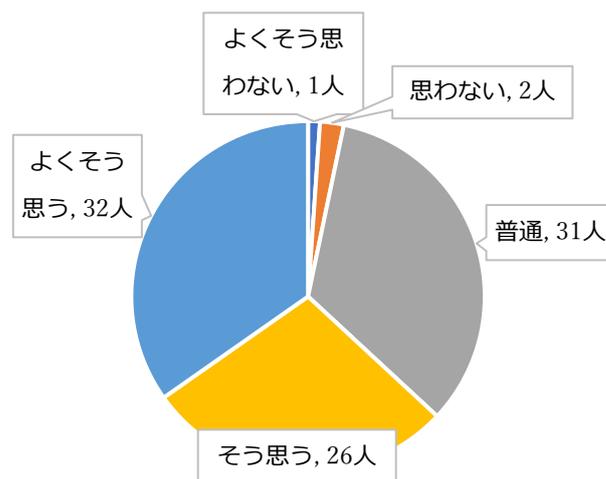
Q13. 自分が知らない世界に興味が出た (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.3%
思わない(2)	8	8.7%
普通(3)	34	37.0%
そう思う(4)	25	27.2%
よくそう思う(5)	22	23.9%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



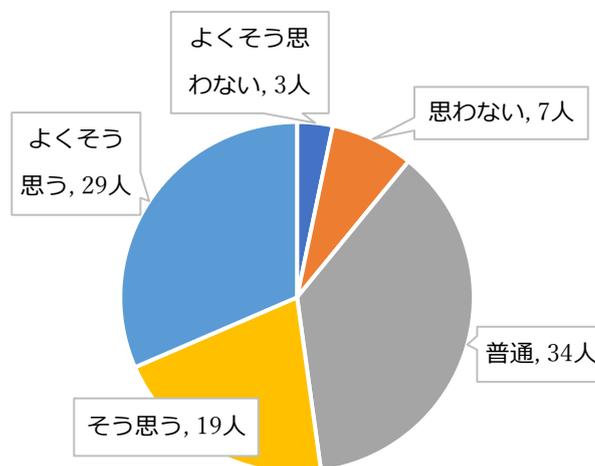
Q14. 色々な価値観があることを理解できるようになった (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	2	2.2%
普通(3)	31	33.7%
そう思う(4)	26	28.3%
よくそう思う(5)	32	34.8%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



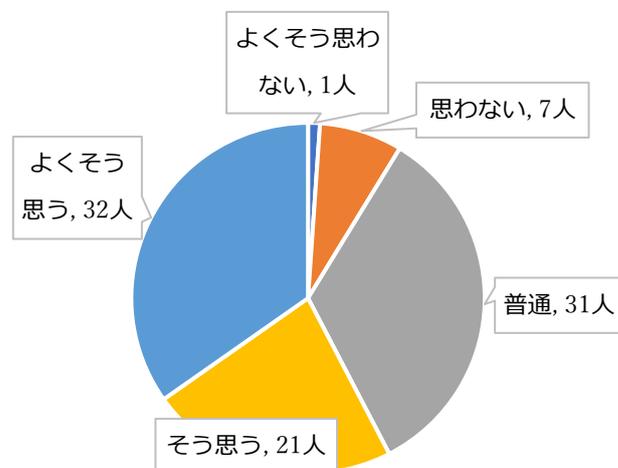
Q15. 言葉が通じなくても楽しめる (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.3%
思わない(2)	7	7.6%
普通(3)	34	37.0%
そう思う(4)	19	20.7%
よくそう思う(5)	29	31.5%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



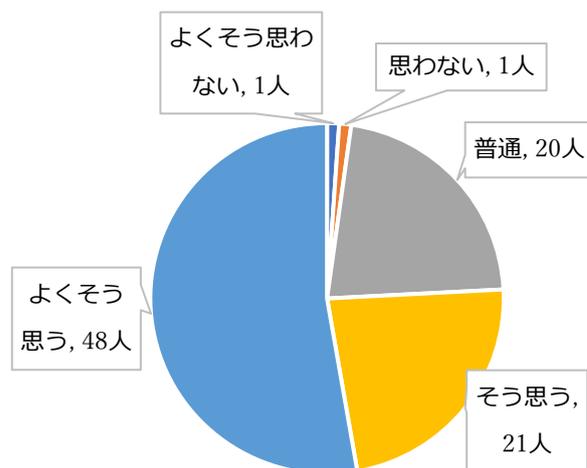
Q16. みんなと協力することが好きだ (3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	7	7.6%
普通(3)	31	33.7%
そう思う(4)	21	22.8%
よくそう思う(5)	32	34.8%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



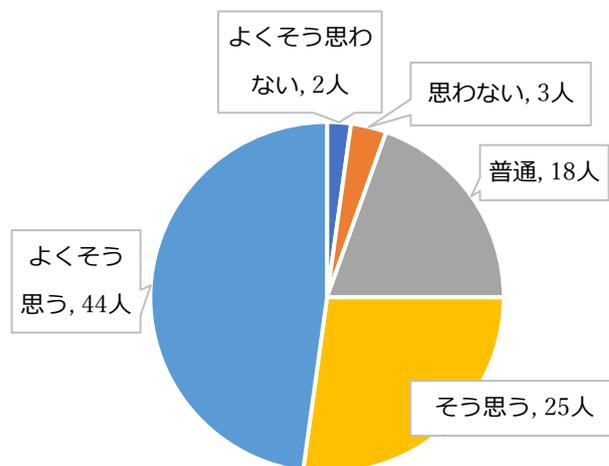
Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。(3回目)

水準	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	1	1.1%
普通(3)	20	22.0%
そう思う(4)	21	23.1%
よくそう思う(5)	48	52.7%
合計	91	100.0%
欠測値 N	6	



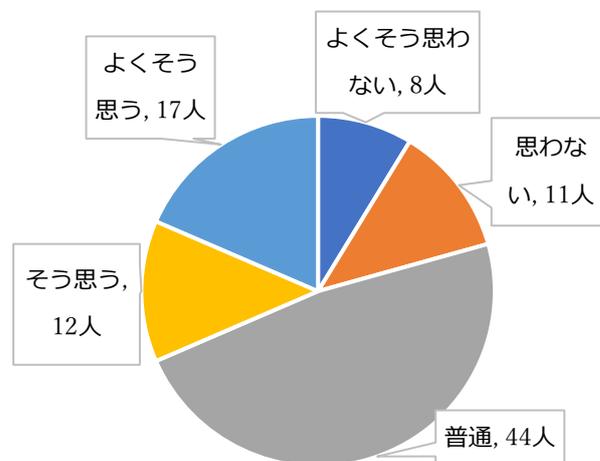
Q18. 本音を話せる人がいる(3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.2%
思わない(2)	3	3.3%
普通(3)	18	19.6%
そう思う(4)	25	27.2%
よくそう思う(5)	44	47.8%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



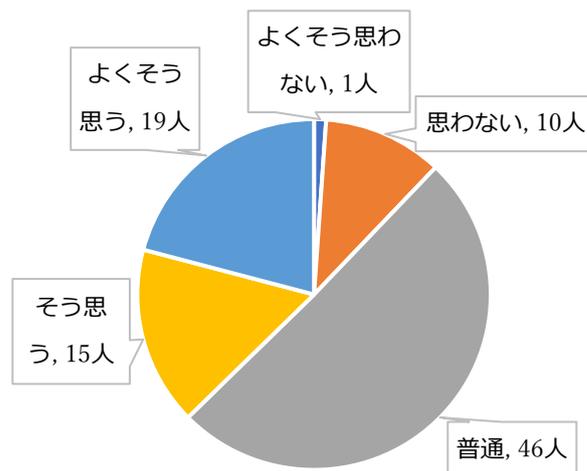
Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。(3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	8	8.7%
思わない(2)	11	12.0%
普通(3)	44	47.8%
そう思う(4)	12	13.0%
よくそう思う(5)	17	18.5%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



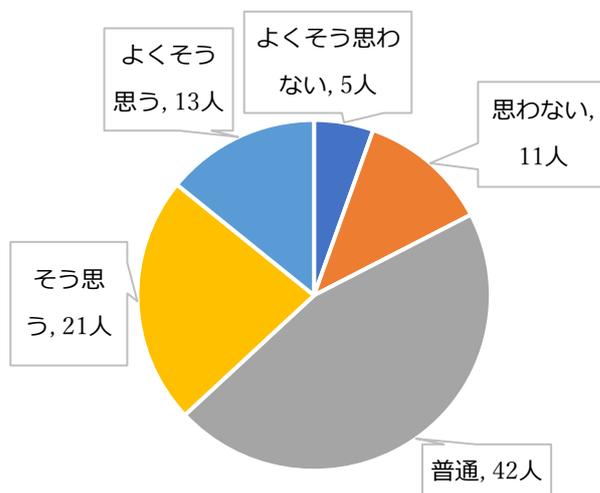
Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。(3回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	10	11.0%
普通(3)	46	50.5%
そう思う(4)	15	16.5%
よくそう思う(5)	19	20.9%
合計	91	100.0%
欠測値 N	6	



Q21. 相談を受けることが多い(3回目)

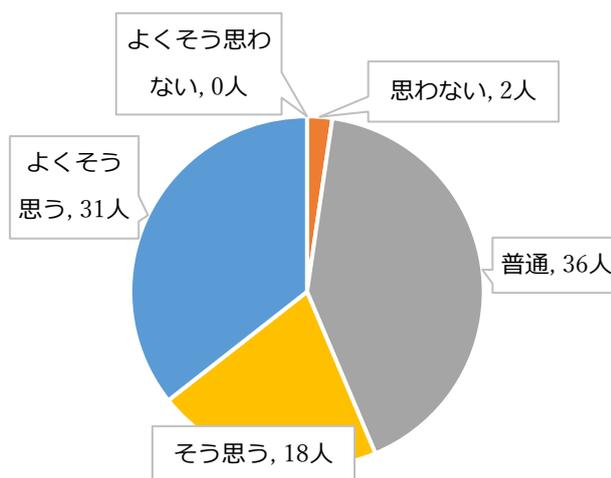
	度数	割合
よくそう思わない(1)	5	5.4%
思わない(2)	11	12.0%
普通(3)	42	45.7%
そう思う(4)	21	22.8%
よくそう思う(5)	13	14.1%
合計	92	100.0%
欠測値 N	5	



【4回目の回答】

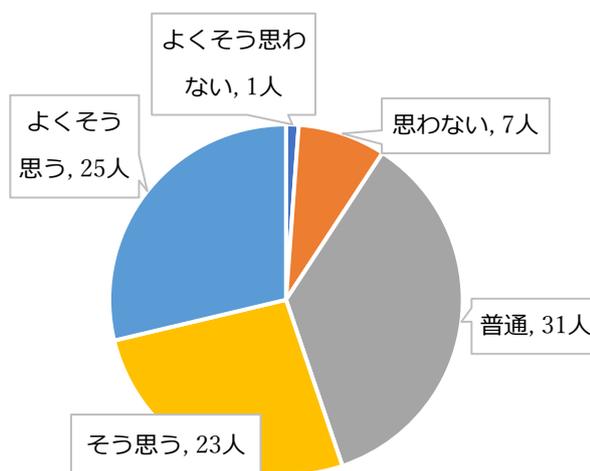
Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う（4回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	2	2.3%
普通(3)	36	41.4%
そう思う(4)	18	20.7%
よくそう思う(5)	31	35.6%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



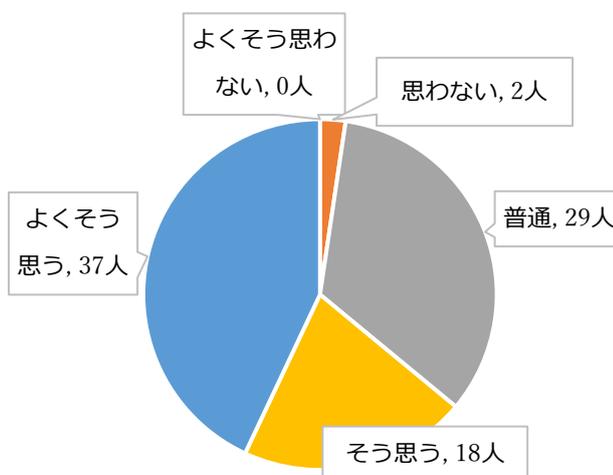
Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている（4回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	7	8.0%
普通(3)	31	35.6%
そう思う(4)	23	26.4%
よくそう思う(5)	25	28.7%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



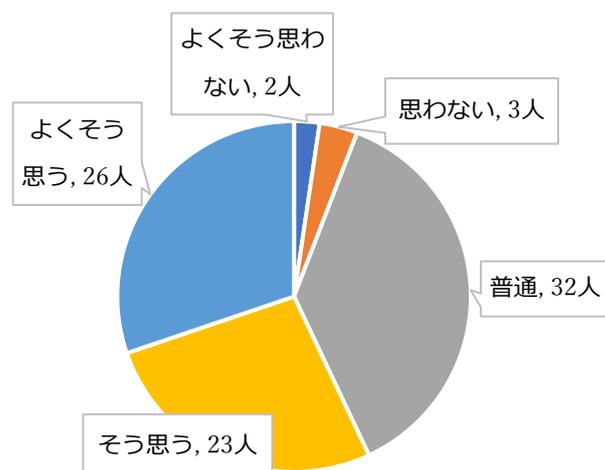
Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う（4回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	2	2.3%
普通(3)	29	33.7%
そう思う(4)	18	20.9%
よくそう思う(5)	37	43.0%
合計	86	100.0%
欠測値 N	11	



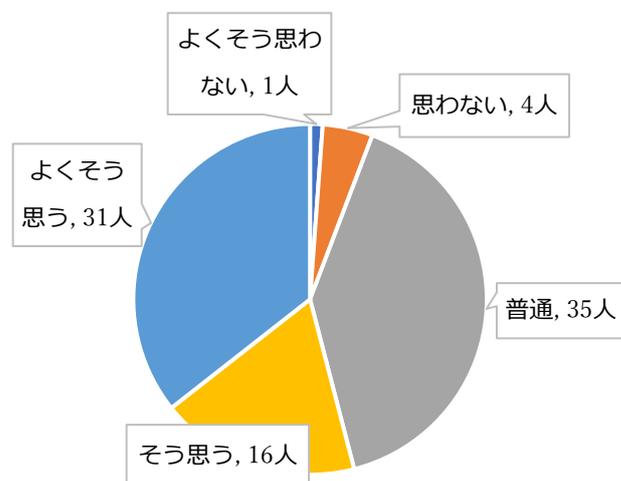
Q5. 痛みを感じた時に、自分をいたわる為にできる何かがある (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.3%
思わない(2)	3	3.5%
普通(3)	32	37.2%
そう思う(4)	23	26.7%
よくそう思う(5)	26	30.2%
合計	86	100.0%
欠測値 N	11	



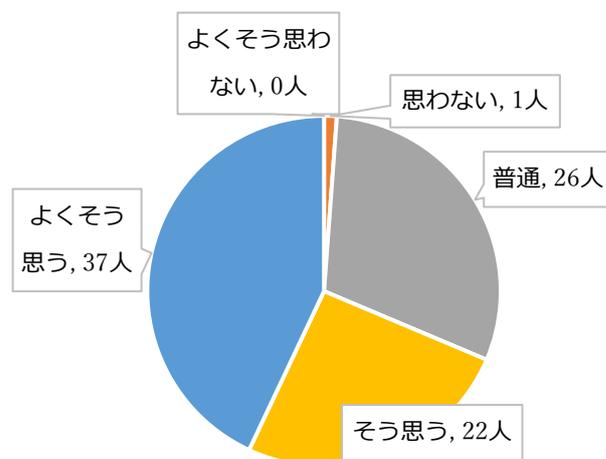
Q6. 偏見をつまらないものだと感じる (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	4	4.6%
普通(3)	35	40.2%
そう思う(4)	16	18.4%
よくそう思う(5)	31	35.6%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



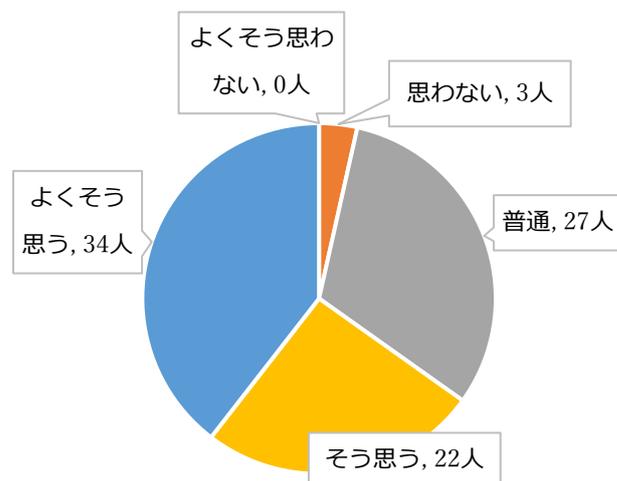
Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	1	1.2%
普通(3)	26	30.2%
そう思う(4)	22	25.6%
よくそう思う(5)	37	43.0%
合計	86	100.0%
欠測値 N	11	



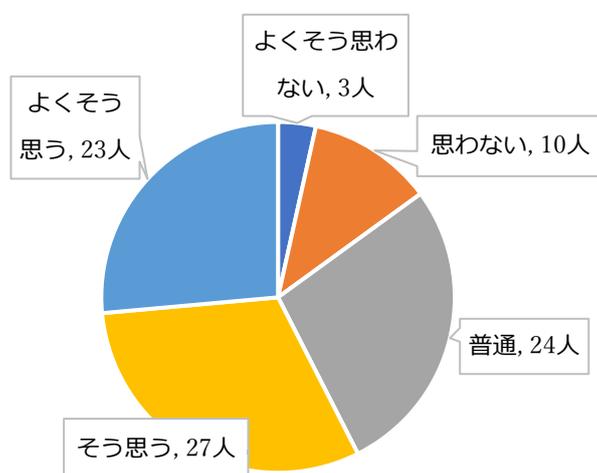
Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている（4回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	3	3.5%
普通(3)	27	31.4%
そう思う(4)	22	25.6%
よくそう思う(5)	34	39.5%
合計	86	100.0%
欠測値 N	11	



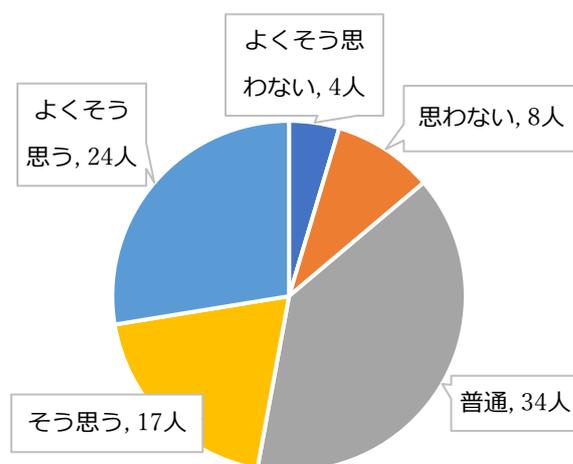
Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている（4回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.4%
思わない(2)	10	11.5%
普通(3)	24	27.6%
そう思う(4)	27	31.0%
よくそう思う(5)	23	26.4%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



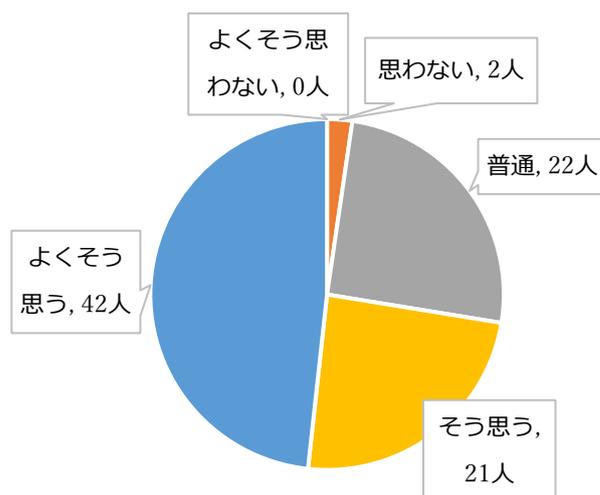
Q10. 感情的になることが少なくなった（4回目）

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.6%
思わない(2)	8	9.2%
普通(3)	34	39.1%
そう思う(4)	17	19.5%
よくそう思う(5)	24	27.6%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



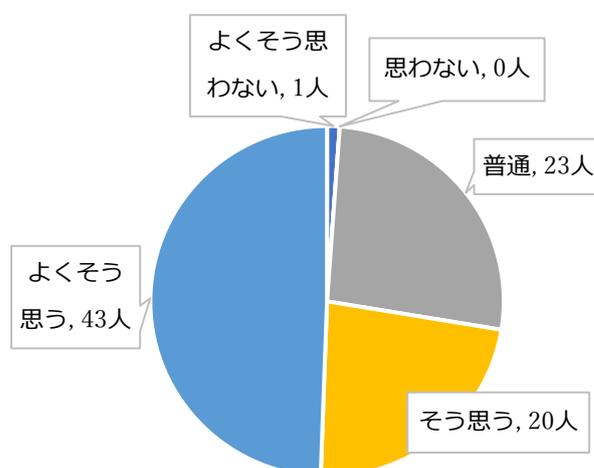
Q11. 色々な人とコミュニケーションを取るとは自分の人生に有効であると思う (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	2	2.3%
普通(3)	22	25.3%
そう思う(4)	21	24.1%
よくそう思う(5)	42	48.3%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



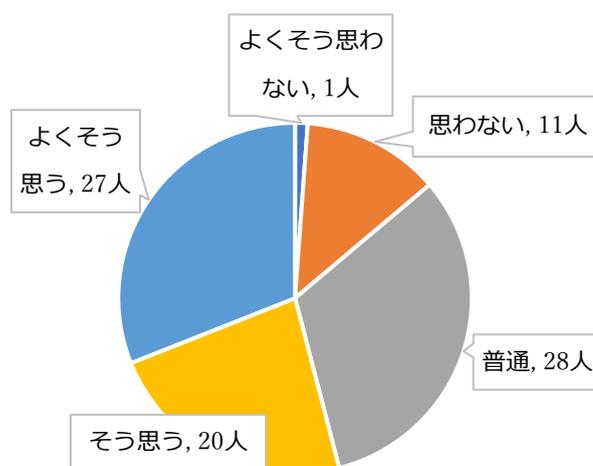
Q12. 初めてのことで回数を重ねると出来るようになると思う (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	0	0.0%
普通(3)	23	26.4%
そう思う(4)	20	23.0%
よくそう思う(5)	43	49.4%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



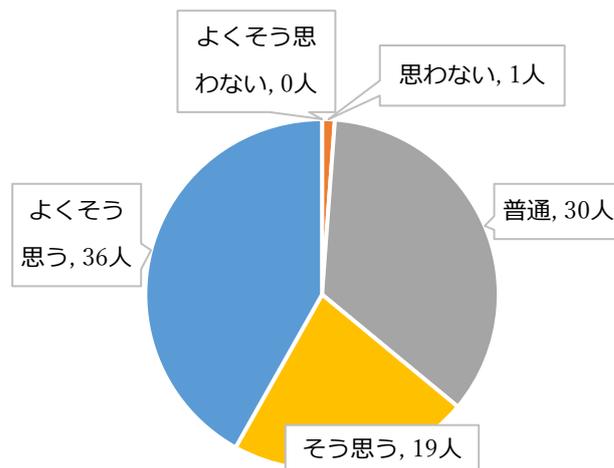
Q13. 自分が知らない世界に興味が出た (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%
思わない(2)	11	12.6%
普通(3)	28	32.2%
そう思う(4)	20	23.0%
よくそう思う(5)	27	31.0%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



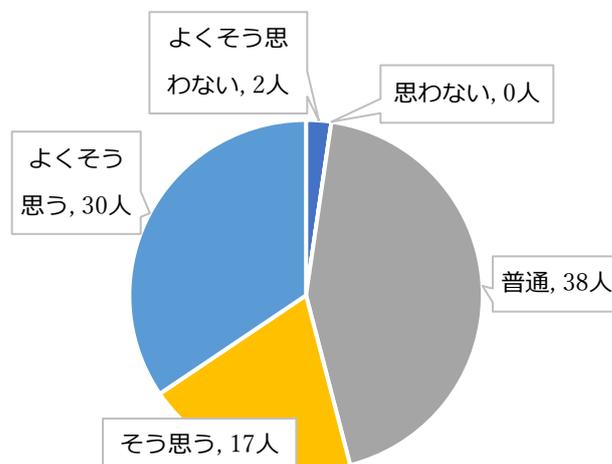
Q14. 色々な価値観があることを理解できるようになった (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	1	1.2%
普通(3)	30	34.9%
そう思う(4)	19	22.1%
よくそう思う(5)	36	41.9%
合計	86	100.0%
欠測値 N	11	



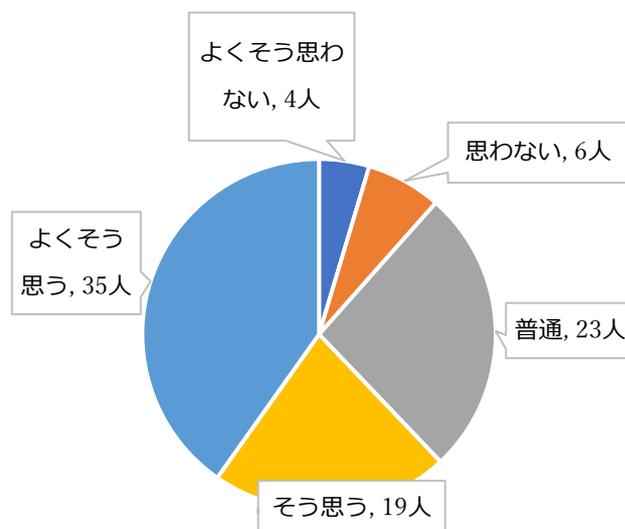
Q15. 言葉が通じなくても楽しめる (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.3%
思わない(2)	0	0.0%
普通(3)	38	43.7%
そう思う(4)	17	19.5%
よくそう思う(5)	30	34.5%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



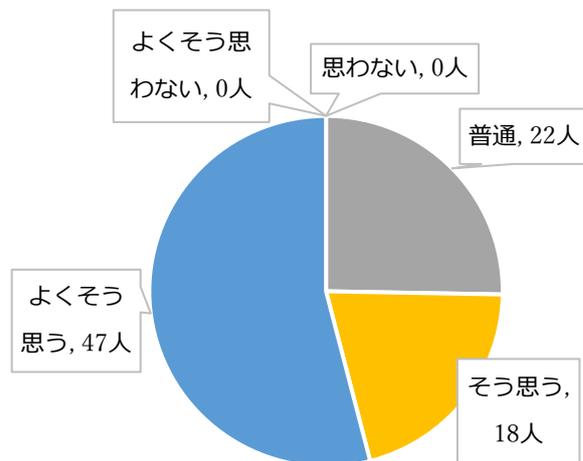
Q16. みんなと協力することが好きだ (4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.6%
思わない(2)	6	6.9%
普通(3)	23	26.4%
そう思う(4)	19	21.8%
よくそう思う(5)	35	40.2%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



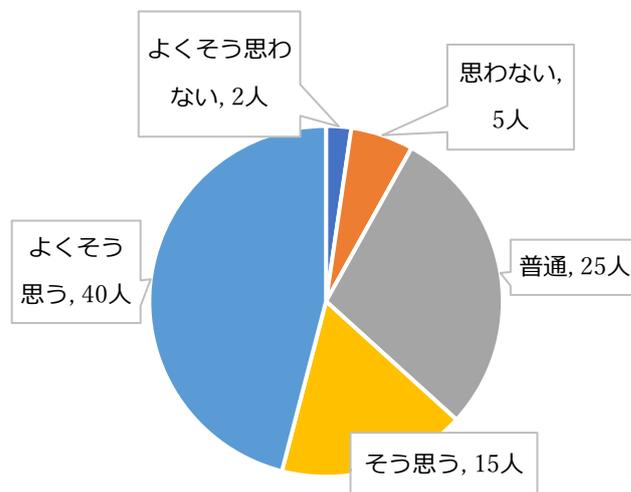
Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。(4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%
思わない(2)	0	0.0%
普通(3)	22	25.3%
そう思う(4)	18	20.7%
よくそう思う(5)	47	54.0%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



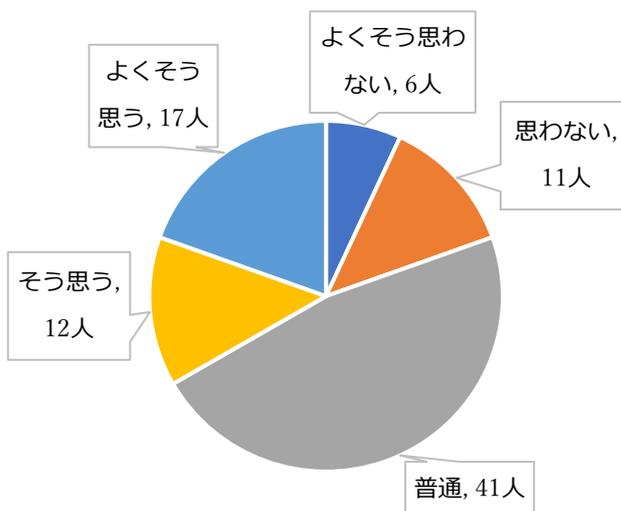
Q18. 本音を話せる人がいる(4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	2	2.3%
思わない(2)	5	5.7%
普通(3)	25	28.7%
そう思う(4)	15	17.2%
よくそう思う(5)	40	46.0%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



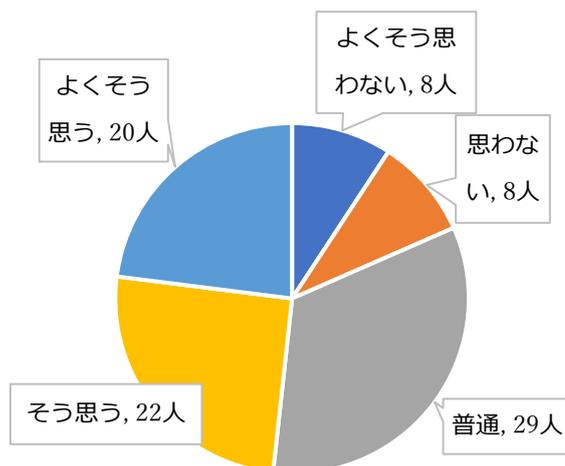
Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。(4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	6	6.9%
思わない(2)	11	12.6%
普通(3)	41	47.1%
そう思う(4)	12	13.8%
よくそう思う(5)	17	19.5%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



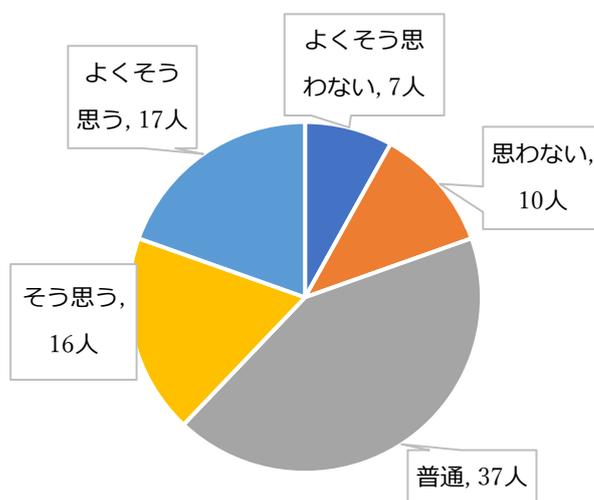
Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。(4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	8	9.2%
思わない(2)	8	9.2%
普通(3)	29	33.3%
そう思う(4)	22	25.3%
よくそう思う(5)	20	23.0%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



Q21. 相談を受けることが多い(4回目)

	度数	割合
よくそう思わない(1)	7	8.0%
思わない(2)	10	11.5%
普通(3)	37	42.5%
そう思う(4)	16	18.4%
よくそう思う(5)	17	19.5%
合計	87	100.0%
欠測値 N	10	



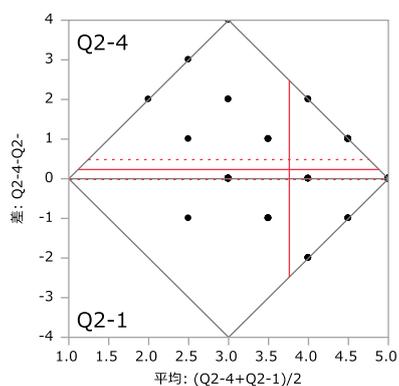
## 2. 回数を経ることによる差の分析

各質問について、第1回、第2回、第3回、第4回の回答の間に有意な差があるかどうかを検証するため、対応のあるt検定を行った。有意な差が検出されたもののみを以下に示す。

Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う

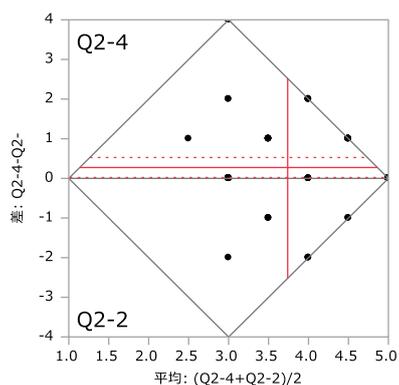
Q2については、4回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子がうかがえる。

### 1回目と4回目



4回目(Q2-4)	3.87671	t 値	1.852709
1回目(Q2-1)	3.64384	自由度	72
差の平均	0.23288	p 値(Prob> t )	0.0680
標準誤差	0.1257	p 値(Prob>t)	0.0340*
上側 95%	0.48345	p 値(Prob<t)	0.9660
下側 95%	-0.0177		

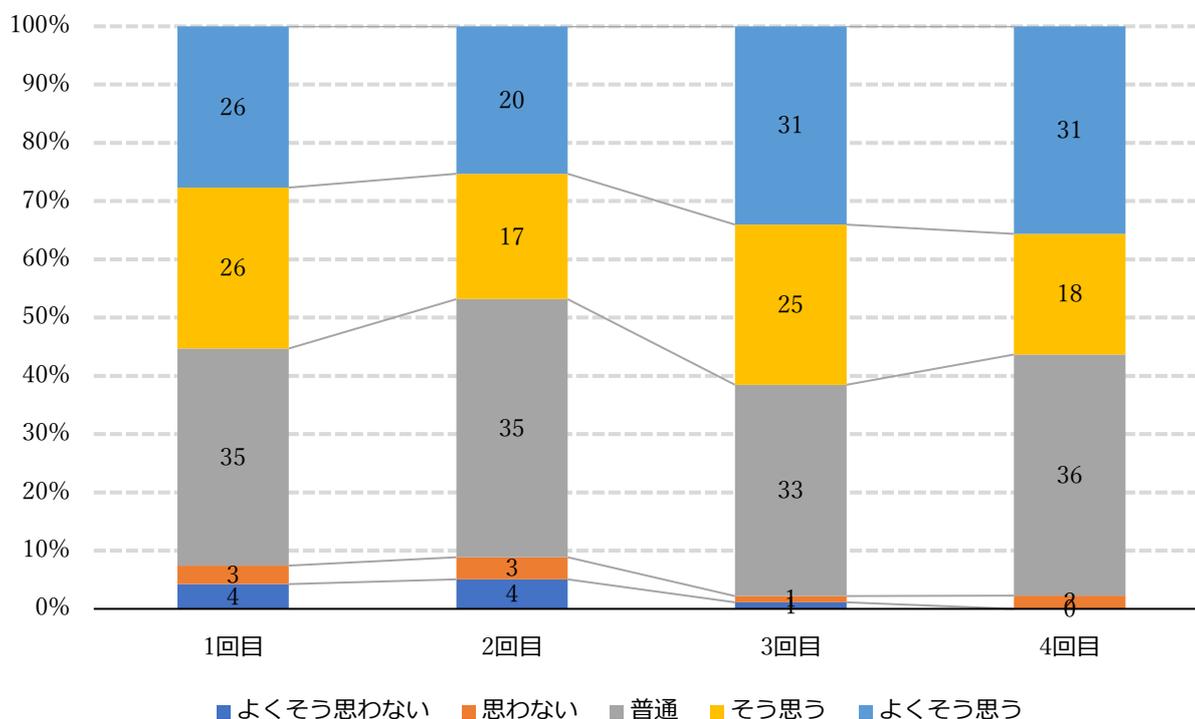
### 2回目と4回目



4回目(Q2-4)	3.87671	t 値	2.160497
2回目(Q2-2)	3.60274	自由度	72
差の平均	0.27397	p 値(Prob> t )	0.0341*
標準誤差	0.12681	p 値(Prob>t)	0.0170*
上側 95%	0.52676	p 値(Prob<t)	0.9830
下側 95%	0.02118		

Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う

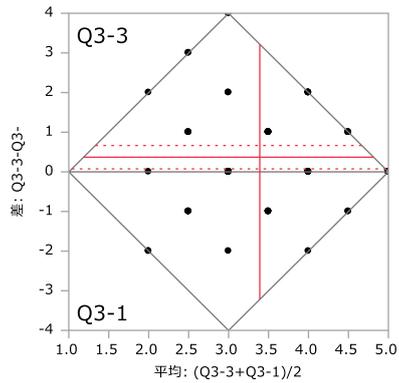
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.3%	4	5.1%	1	1.1%	0	0.0%
思わない(2)	3	3.2%	3	3.8%	1	1.1%	2	2.3%
普通(3)	35	37.2%	35	44.3%	33	36.3%	36	41.4%
そう思う(4)	26	27.7%	17	21.5%	25	27.5%	18	20.7%
よくそう思う(5)	26	27.7%	20	25.3%	31	34.1%	31	35.6%
合計	94	100.0%	79	100.0%	91	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		18		6		10	



Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている

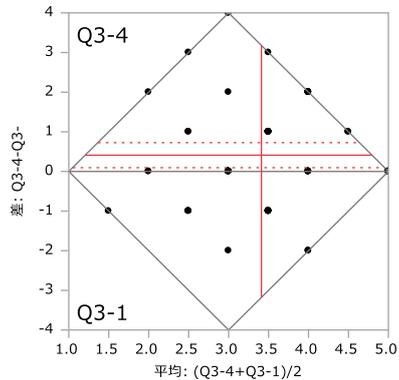
Q3については、3回目、4回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子が見える。

### 1回目と3回目



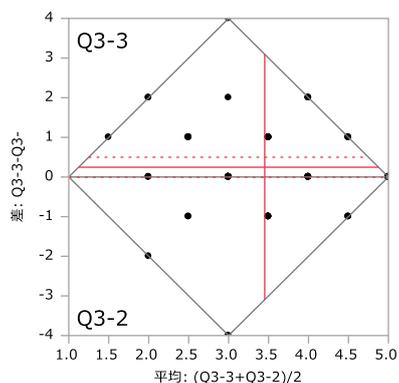
3回目(Q3-3)	3.57534	t 値	2.50031
1回目(Q3-1)	3.20548	自由度	72
差の平均	0.36986	p 値(Prob> t )	0.0147*
標準誤差	0.14793	p 値(Prob>t)	0.0073*
上側 95%	0.66475	p 値(Prob<t)	0.9927
下側 95%	0.07498		

### 1回目と4回目



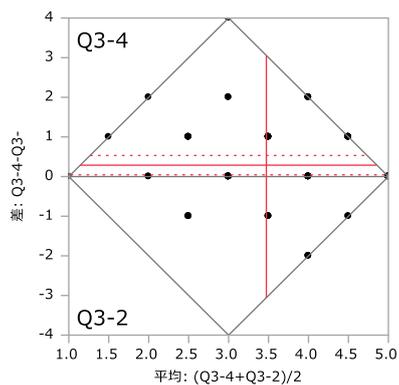
4回目(Q3-4)	3.61644	t 値	2.596454
1回目(Q3-1)	3.20548	自由度	72
差の平均	0.41096	p 値(Prob> t )	0.0114*
標準誤差	0.15828	p 値(Prob>t)	0.0057*
上側 95%	0.72648	p 値(Prob<t)	0.9943
下側 95%	0.09544		

## 2回目と3回目



3回目(Q3-3)	3.57534	t 値	1.955572
2回目(Q3-2)	3.32877	自由度	72
差の平均	0.24658	p 値(Prob> t )	0.0544
標準誤差	0.12609	p 値(Prob>t)	0.0272*
上側 95%	0.49793	p 値(Prob<t)	0.9728
下側 95%	-0.0048		

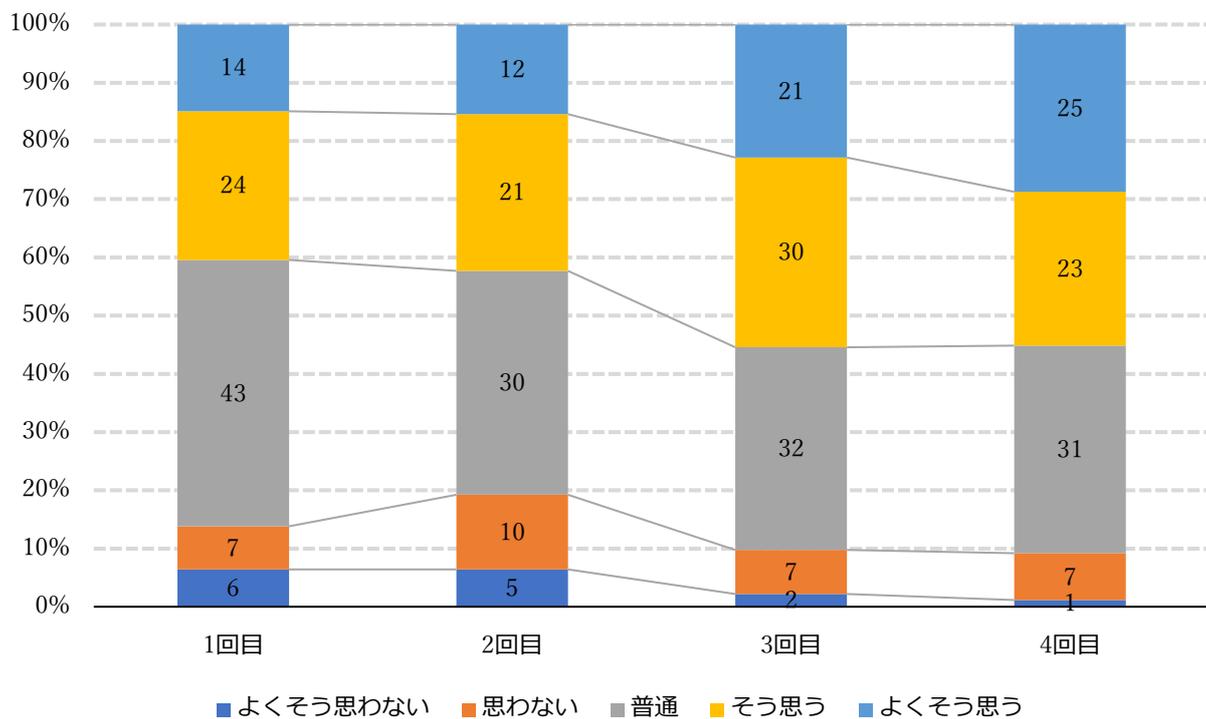
## 2回目と4回目



4回目(Q3-4)	3.61644	t 値	2.347057
2回目(Q3-2)	3.32877	自由度	72
差の平均	0.28767	p 値(Prob> t )	0.0217*
標準誤差	0.12257	p 値(Prob>t)	0.0108*
上側 95%	0.532	p 値(Prob<t)	0.9892
下側 95%	0.04334		

Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている

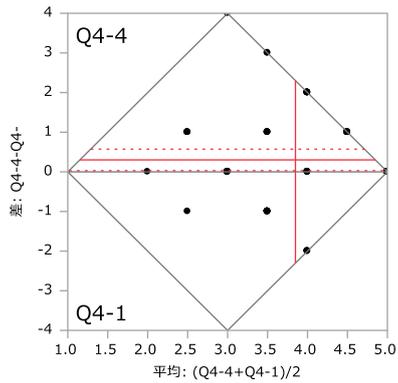
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	6	6.4%	5	6.4%	2	2.2%	1	1.1%
思わない(2)	7	7.4%	10	12.8%	7	7.6%	7	8.0%
普通(3)	43	45.7%	30	38.5%	32	34.8%	31	35.6%
そう思う(4)	24	25.5%	21	26.9%	30	32.6%	23	26.4%
よくそう思う(5)	14	14.9%	12	15.4%	21	22.8%	25	28.7%
合計	94	100.0%	78	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		19		5		10	



Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う

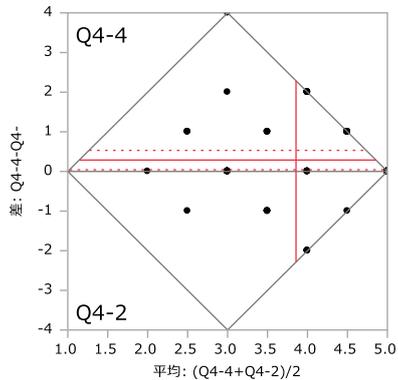
Q4については、4回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子が見える。

1回目と4回目



4回目(Q4-4)	4	t 値	2.214192
1回目(Q4-1)	3.69863	自由度	72
差の平均	0.30137	p 値(Prob> t )	0.0300*
標準誤差	0.13611	p 値(Prob>t)	0.0150*
上側 95%	0.5727	p 値(Prob<t)	0.9850
下側 95%	0.03004		

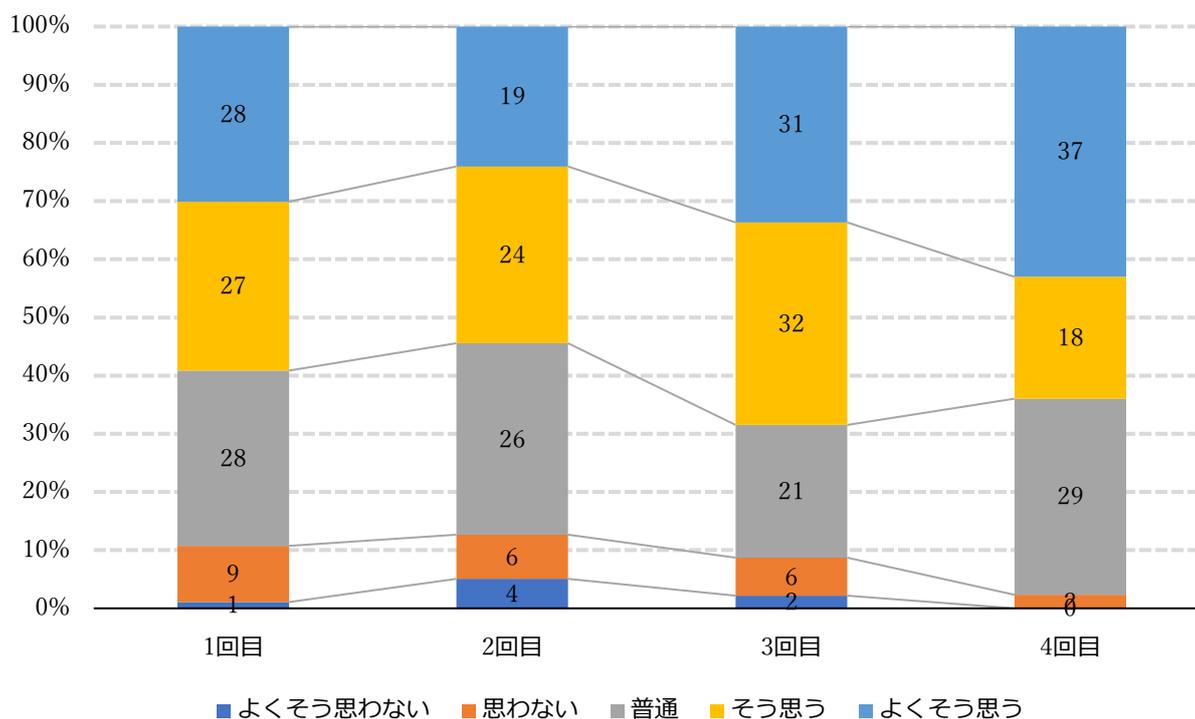
2回目と4回目



4回目(Q4-4)	4	t 値	2.347057
2回目(Q4-2)	3.71233	自由度	72
差の平均	0.28767	p 値(Prob> t )	0.0217*
標準誤差	0.12257	p 値(Prob>t)	0.0108*
上側 95%	0.532	p 値(Prob<t)	0.9892
下側 95%	0.04334		

Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う

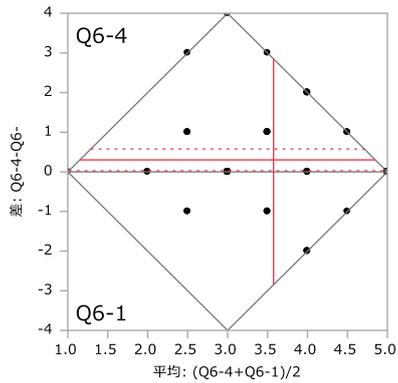
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%	4	5.1%	2	2.2%	0	0.0%
思わない(2)	9	9.7%	6	7.6%	6	6.5%	2	2.3%
普通(3)	28	30.1%	26	32.9%	21	22.8%	29	33.7%
そう思う(4)	27	29.0%	24	30.4%	32	34.8%	18	20.9%
よくそう思う(5)	28	30.1%	19	24.1%	31	33.7%	37	43.0%
合計	93	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	86	100.0%
欠測値 N	4		18		5		11	



Q6. 偏見をつまらないものだと感じる

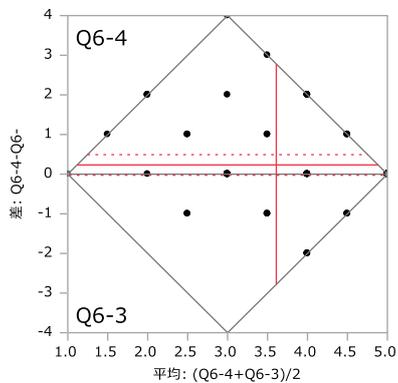
Q6については、4回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子がうかがえる。

1回目と4回目



4回目(Q6-4)	3.72603	t 値	2.191796
1回目(Q6-1)	3.42466	自由度	72
差の平均	0.30137	p 値(Prob> t )	0.0316*
標準誤差	0.1375	p 値(Prob>t)	0.0158*
上側 95%	0.57547	p 値(Prob<t)	0.9842
下側 95%	0.02727		

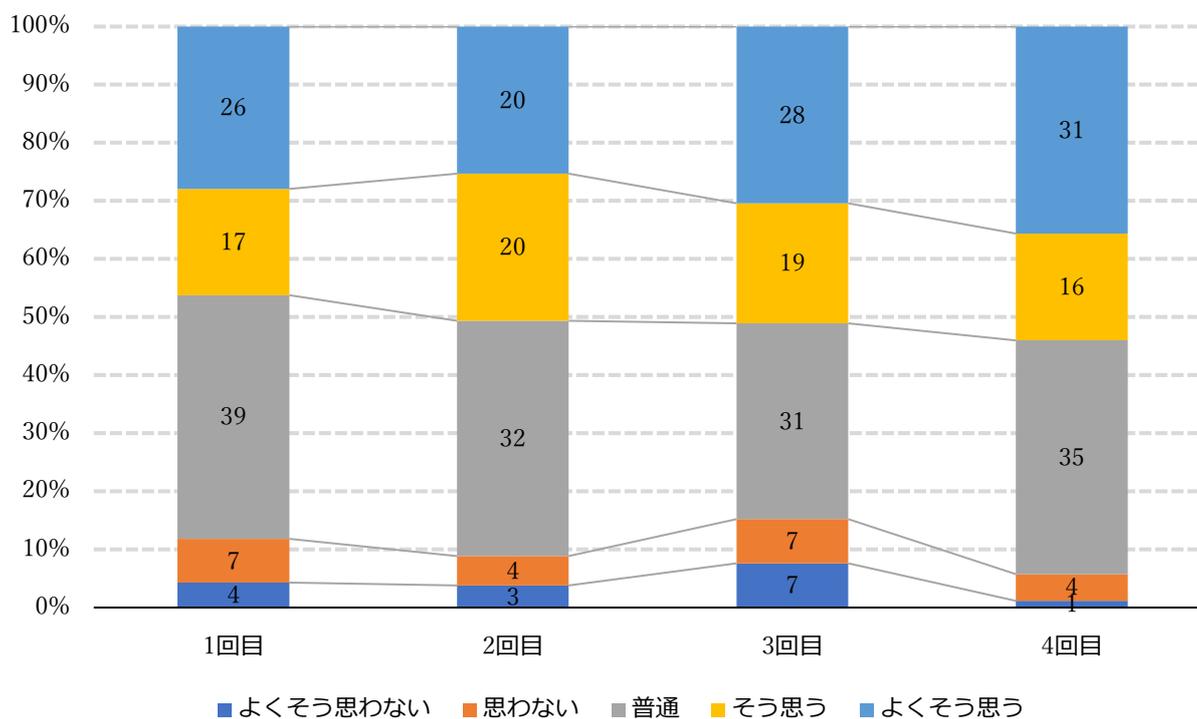
3回目と4回目



4回目(Q6-4)	3.72603	t 値	1.789198
3回目(Q6-3)	3.49315	自由度	72
差の平均	0.23288	p 値(Prob> t )	0.0778
標準誤差	0.13016	p 値(Prob>t)	0.0389*
上側 95%	0.49234	p 値(Prob<t)	0.9611
下側 95%	-0.0266		

Q6. 偏見をつまらないものだと感じる

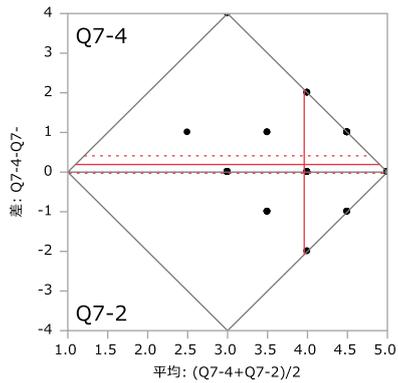
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.3%	3	3.8%	7	7.6%	1	1.1%
思わない(2)	7	7.5%	4	5.1%	7	7.6%	4	4.6%
普通(3)	39	41.9%	32	40.5%	31	33.7%	35	40.2%
そう思う(4)	17	18.3%	20	25.3%	19	20.7%	16	18.4%
よくそう思う(5)	26	28.0%	20	25.3%	28	30.4%	31	35.6%
合計	93	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	4		18		5		10	



Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている

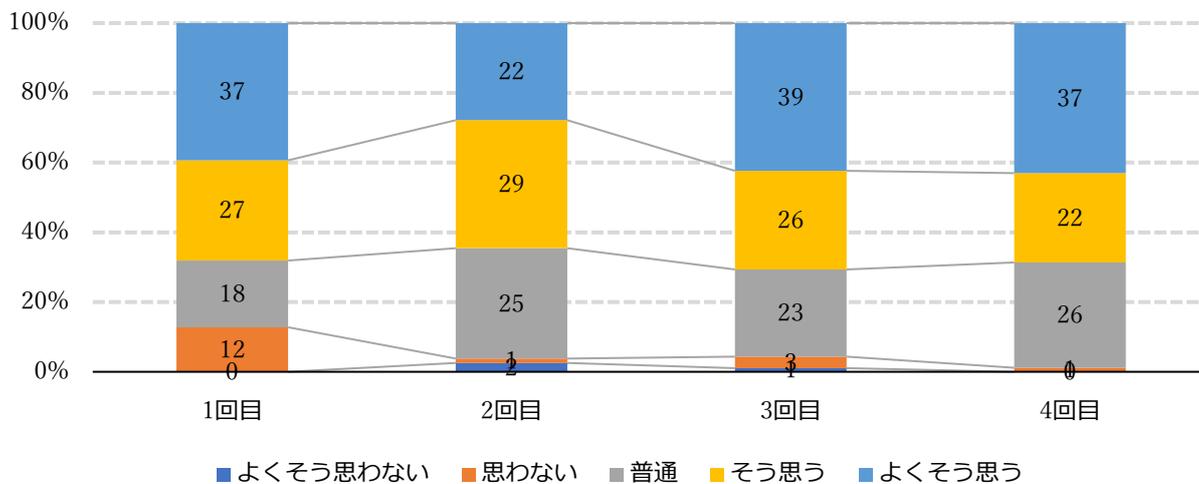
Q7については2回目においてだけポジティブな回答の割合が減っている。ただし欠測値の影響の可能性もある。

2回目と4回目



4回目(Q7-4)	4.05479	t 値	1.747348
2回目(Q7-2)	3.86301	自由度	72
差の平均	0.19178	p 値(Prob> t )	0.0848
標準誤差	0.10976	p 値(Prob>t)	0.0424*
上側 95%	0.41057	p 値(Prob<t)	0.9576
下側 95%	-0.027		

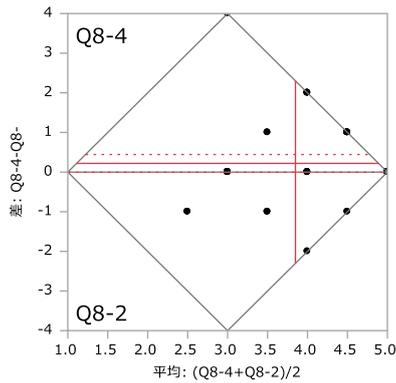
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%	2	2.5%	1	1.1%	0	0.0%
思わない(2)	12	12.8%	1	1.3%	3	3.3%	1	1.2%
普通(3)	18	19.1%	25	31.6%	23	25.0%	26	30.2%
そう思う(4)	27	28.7%	29	36.7%	26	28.3%	22	25.6%
よくそう思う(5)	37	39.4%	22	27.8%	39	42.4%	37	43.0%
合計	94	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	86	100.0%
欠測値 N	3		18		5		11	



Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている

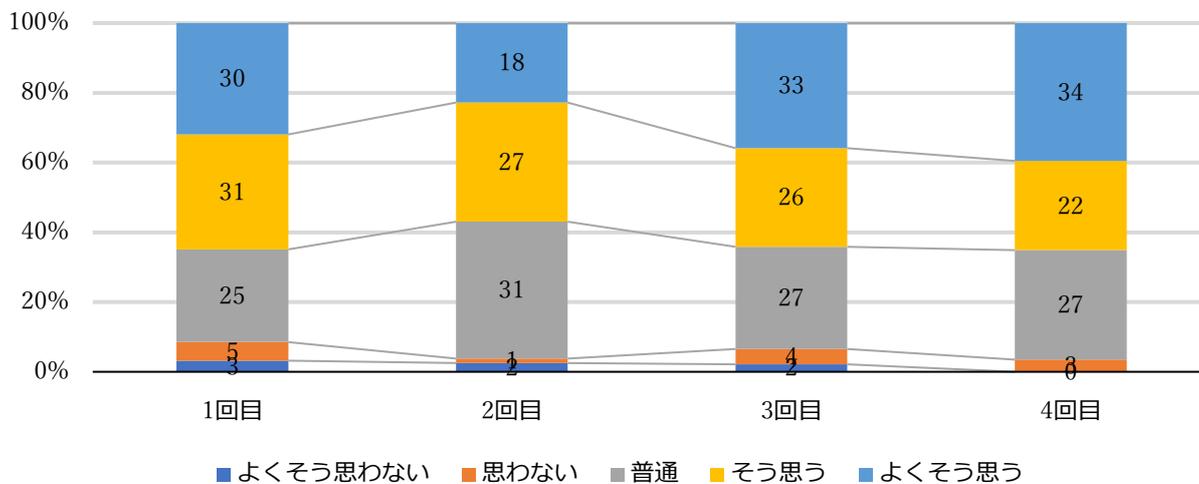
Q8については2回目においてだけポジティブな回答の割合が減っている。ただし欠測値の影響の可能性もある。

2回目と4回目



4回目(Q8-4)	3.9589	t 値	1.948661
2回目(Q8-2)	3.73973	自由度	72
差の平均	0.21918	p 値(Prob> t )	0.0552
標準誤差	0.11248	p 値(Prob>t)	0.0276*
上側 95%	0.4434	p 値(Prob<t)	0.9724
下側 95%	-0.005		

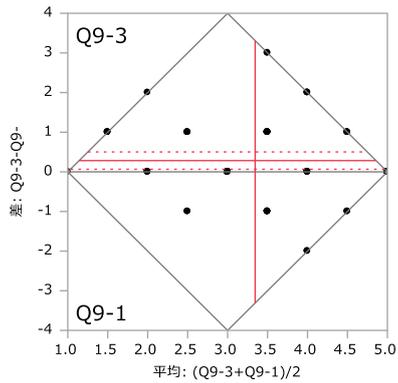
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	3	3.2%	2	2.5%	2	2.2%	0	0.0%
思わない(2)	5	5.3%	1	1.3%	4	4.3%	3	3.5%
普通(3)	25	26.6%	31	39.2%	27	29.3%	27	31.4%
そう思う(4)	31	33.0%	27	34.2%	26	28.3%	22	25.6%
よくそう思う(5)	30	31.9%	18	22.8%	33	35.9%	34	39.5%
合計	94	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	86	100.0%
欠測値 N	3		18		5		11	



Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている

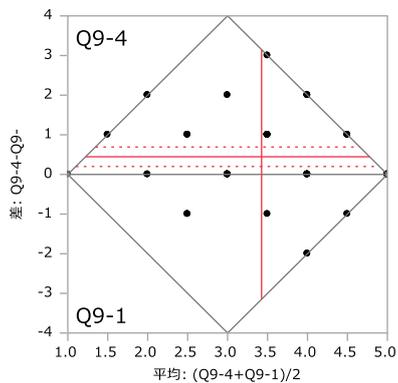
Q9については、3回目、4回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子が見える。

1回目と3回目



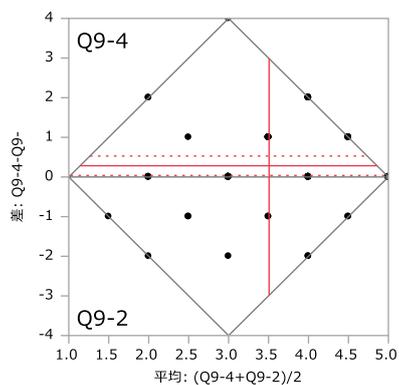
3回目(Q9-3)	3.48649	t 値	2.586264
1回目(Q9-1)	3.2027	自由度	73
差の平均	0.28378	p 値(Prob> t )	0.0117*
標準誤差	0.10973	p 値(Prob>t)	0.0058*
上側 95%	0.50247	p 値(Prob<t)	0.9942
下側 95%	0.0651		

1回目と4回目



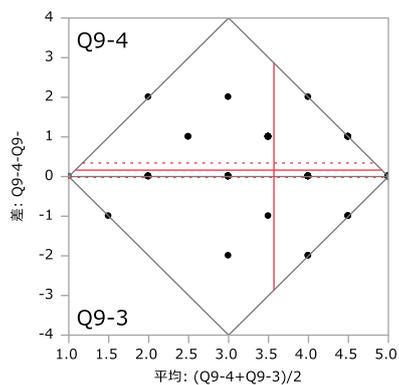
4回目(Q9-4)	3.64865	t 値	3.613286
1回目(Q9-1)	3.2027	自由度	73
差の平均	0.44595	p 値(Prob> t )	0.0006*
標準誤差	0.12342	p 値(Prob>t)	0.0003*
上側 95%	0.69192	p 値(Prob<t)	0.9997
下側 95%	0.19997		

## 2 回目と 4 回目



4 回目(Q9-4)	3.64865	t 値	2.316934
2 回目(Q9-2)	3.36486	自由度	73
差の平均	0.28378	p 値(Prob> t )	0.0233*
標準誤差	0.12248	p 値(Prob>t)	0.0117*
上側 95%	0.52789	p 値(Prob<t)	0.9883
下側 95%	0.03968		

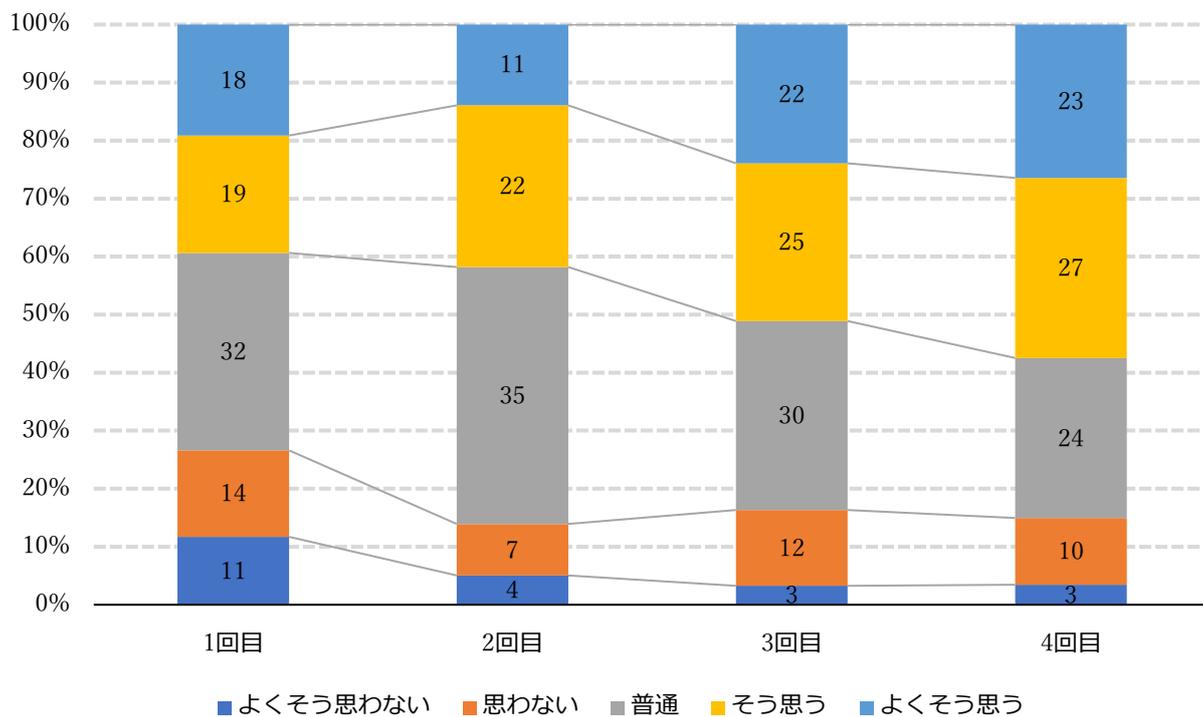
## 3 回目と 4 回目



4 回目(Q9-4)	3.64865	t 値	1.7957
3 回目(Q9-3)	3.48649	自由度	73
差の平均	0.16216	p 値(Prob> t )	0.0767
標準誤差	0.09031	p 値(Prob>t)	0.0383*
上側 95%	0.34214	p 値(Prob<t)	0.9617
下側 95%	-0.0178		

Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている

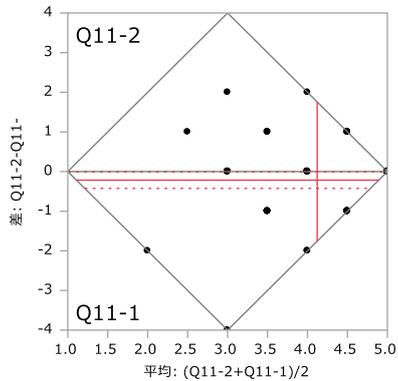
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	11	11.7%	4	5.1%	3	3.3%	3	3.4%
思わない(2)	14	14.9%	7	8.9%	12	13.0%	10	11.5%
普通(3)	32	34.0%	35	44.3%	30	32.6%	24	27.6%
そう思う(4)	19	20.2%	22	27.8%	25	27.2%	27	31.0%
よくそう思う(5)	18	19.1%	11	13.9%	22	23.9%	23	26.4%
合計	94	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		18		5		10	



Q11. 色々な人とコミュニケーションを取ることは自分の人生に有効であると思う

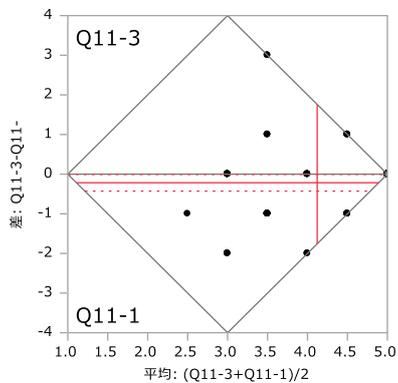
Q11 については、2 回目、3 回目においてポジティブな回答の割合が減っている。実際の難しさを実感したことによる影響かもしれない。ただし 4 回目には 1 回目と同程度の回答傾向に戻っている。

### 1 回目と 2 回目



2 回目(Q11-2)	4.01351	t 値	-2.077
1 回目(Q11-1)	4.22973	自由度	73
差の平均	-0.2162	p 値(Prob> t )	0.0413*
標準誤差	0.1041	p 値(Prob>t)	0.9793
上側 95%	-0.0087	p 値(Prob<t)	0.0207*
下側 95%	-0.4237		

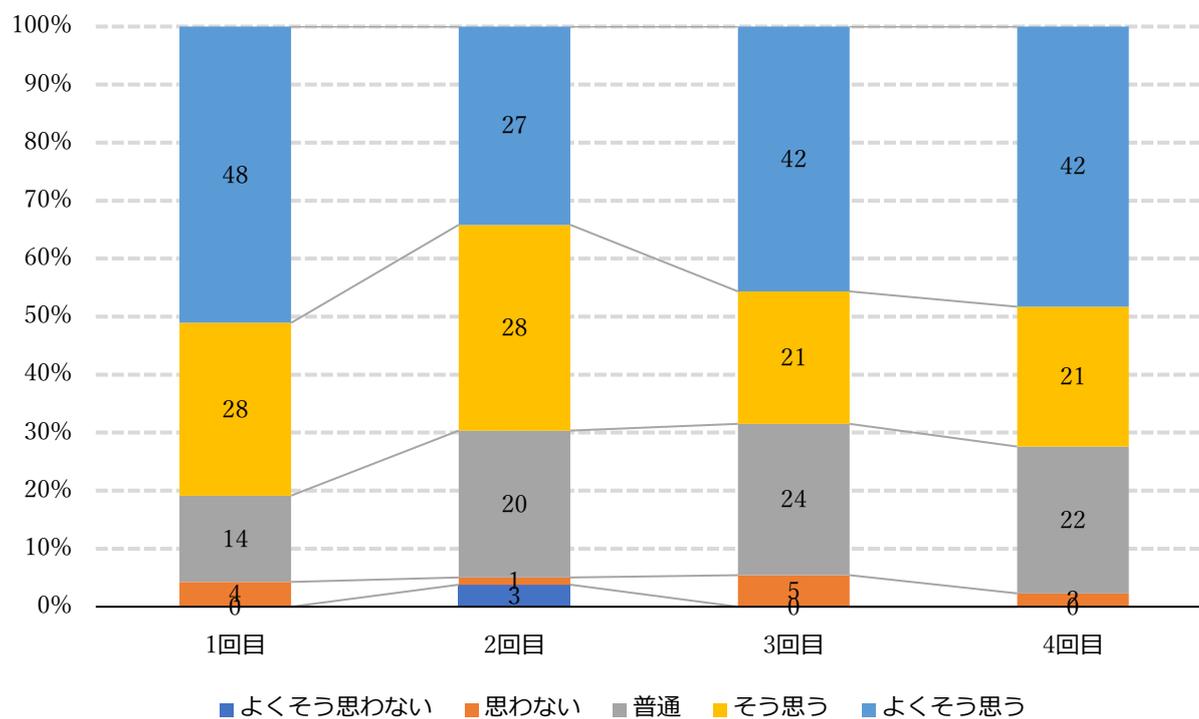
### 1 回目と 3 回目



3 回目(Q11-3)	4.01351	t 値	-2.04241
1 回目(Q11-1)	4.22973	自由度	73
差の平均	-0.2162	p 値(Prob> t )	0.0447*
標準誤差	0.10586	p 値(Prob>t)	0.9776
上側 95%	-0.0052	p 値(Prob<t)	0.0224*
下側 95%	-0.4272		

Q11. 色々な人とコミュニケーションを取ることは自分の人生に有効であると思う

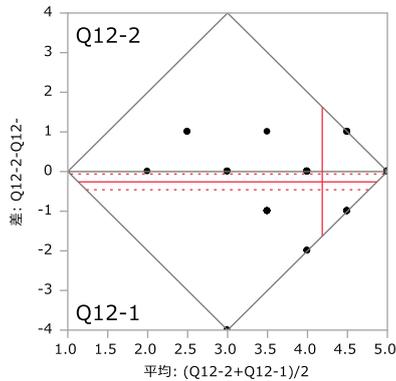
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%	3	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
思わない(2)	4	4.3%	1	1.3%	5	5.4%	2	2.3%
普通(3)	14	14.9%	20	25.3%	24	26.1%	22	25.3%
そう思う(4)	28	29.8%	28	35.4%	21	22.8%	21	24.1%
よくそう思う(5)	48	51.1%	27	34.2%	42	45.7%	42	48.3%
合計	94	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		18		5		10	



Q12. 初めてのことで回数を重ねると出来るようになると思う

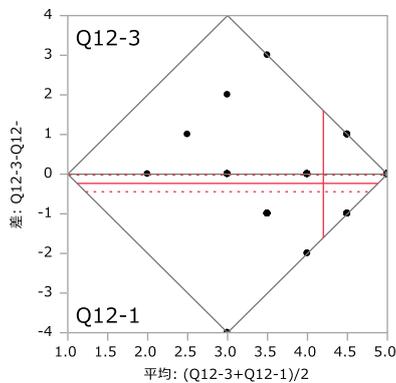
Q12 については、2 回目、3 回目においてポジティブな回答の割合が減っている。実際の難しさを実感したことによる影響かもしれない。ただし 4 回目には 1 回目と同程度の回答傾向に戻っている。

### 1 回目と 2 回目



2 回目(Q12-2)	4.05479	t 値	-2.61534
1 回目(Q12-1)	4.31507	自由度	72
差の平均	-0.2603	p 値(Prob> t )	0.0109*
標準誤差	0.09952	p 値(Prob>t)	0.9946
上側 95%	-0.0619	p 値(Prob<t)	0.0054*
下側 95%	-0.4587		

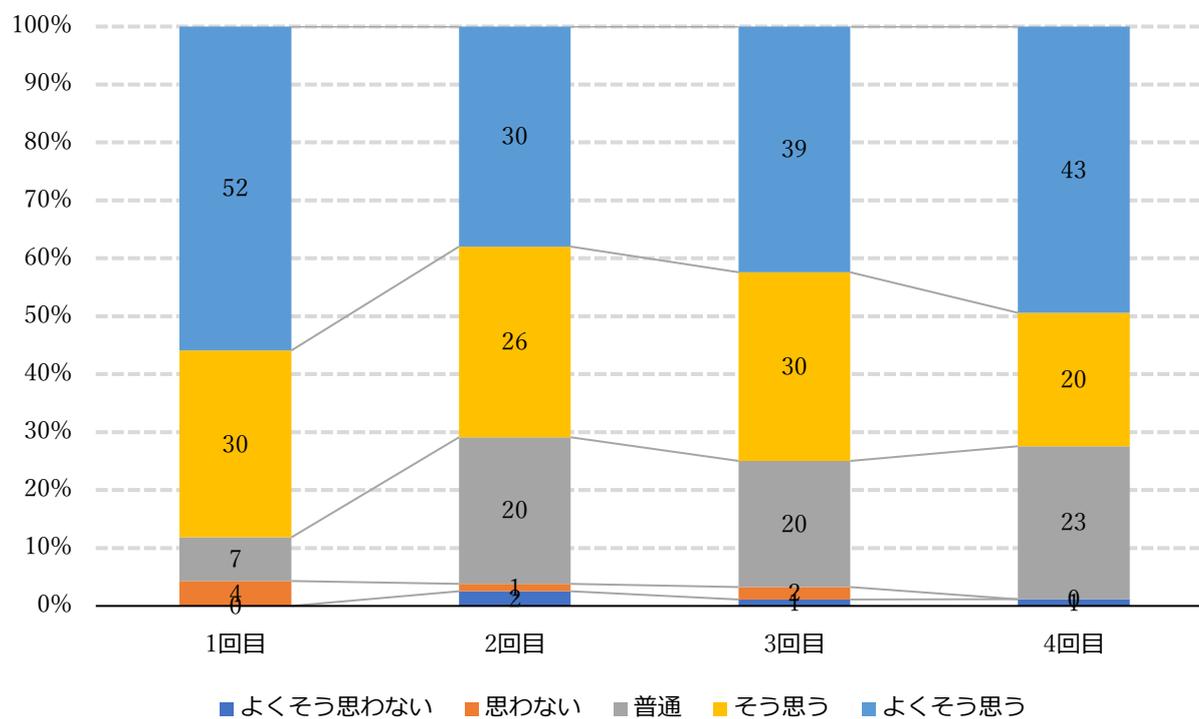
### 1 回目と 3 回目



3 回目(Q12-3)	4.08219	t 値	-2.19724
1 回目(Q12-1)	4.31507	自由度	72
差の平均	-0.2329	p 値(Prob> t )	0.0312*
標準誤差	0.10599	p 値(Prob>t)	0.9844
上側 95%	-0.0216	p 値(Prob<t)	0.0156*
下側 95%	-0.4442		

Q12. 初めてのことでも回数を重ねると出来るようになると思う

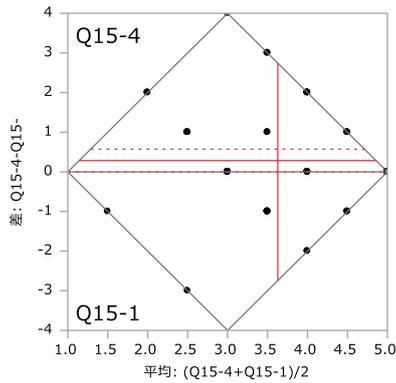
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	0	0.0%	2	2.5%	1	1.1%	1	1.1%
思わない(2)	4	4.3%	1	1.3%	2	2.2%	0	0.0%
普通(3)	7	7.5%	20	25.3%	20	21.7%	23	26.4%
そう思う(4)	30	32.3%	26	32.9%	30	32.6%	20	23.0%
よくそう思う(5)	52	55.9%	30	38.0%	39	42.4%	43	49.4%
合計	93	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	4		18		5		10	



Q15. 言葉が通じなくても楽しめる

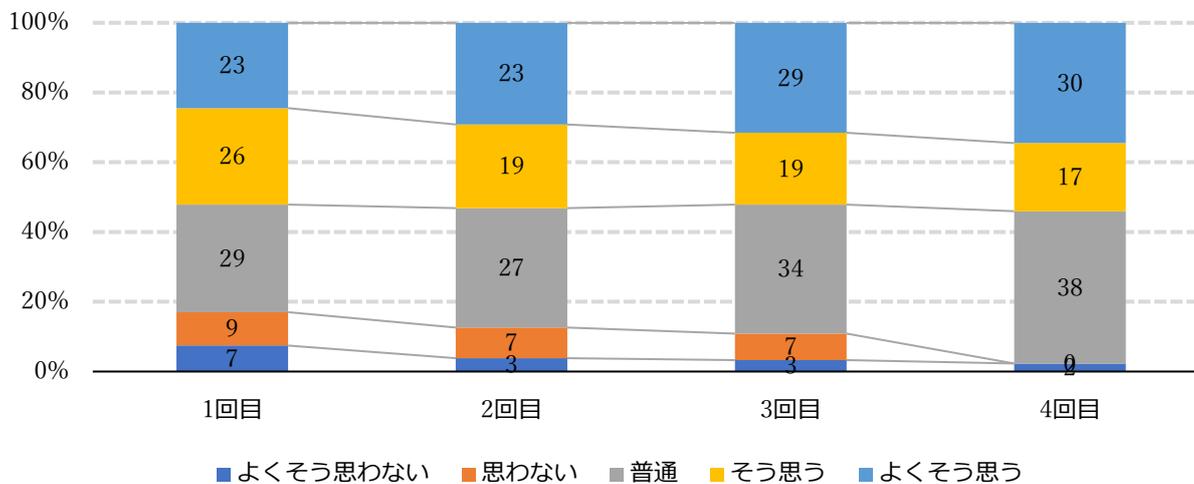
Q15 については、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子が見られる。

1 回目と 4 回目



4 回目(Q15-4)	3.77027	t 値	1.961768
1 回目(Q15-1)	3.48649	自由度	73
差の平均	0.28378	p 値(Prob> t )	0.0536
標準誤差	0.14466	p 値(Prob>t)	0.0268*
上側 95%	0.57209	p 値(Prob<t)	0.9732
下側 95%	-0.0045		

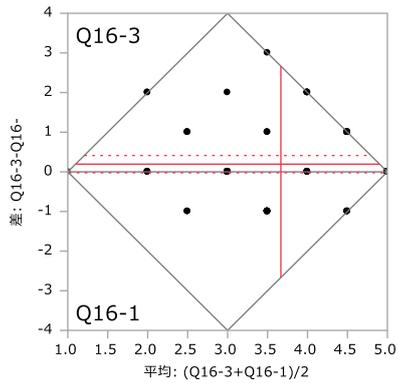
	1 回目		2 回目		3 回目		4 回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	7	7.4%	3	3.8%	3	3.3%	2	2.3%
思わない(2)	9	9.6%	7	8.9%	7	7.6%	0	0.0%
普通(3)	29	30.9%	27	34.2%	34	37.0%	38	43.7%
そう思う(4)	26	27.7%	19	24.1%	19	20.7%	17	19.5%
よくそう思う(5)	23	24.5%	23	29.1%	29	31.5%	30	34.5%
合計	94	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		18		5		10	



Q16. みんなと協力することが好きだ

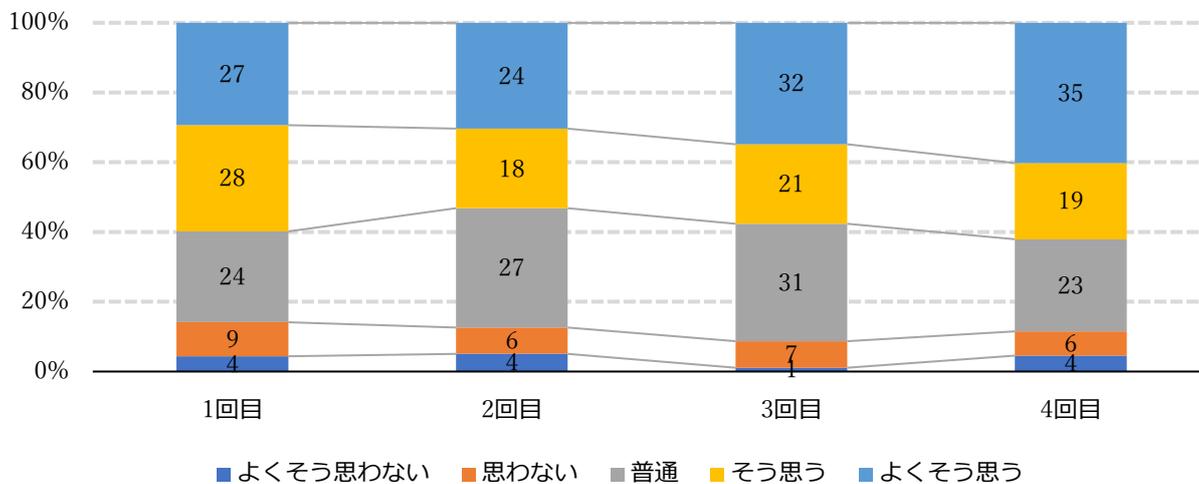
Q16については、3回目において明らかにネガティブな回答が減っている。ただし4回目は1回目や2回目と同程度の回答傾向に戻っている。

1回目と3回目



3回目(Q16-3)	3.76389	t 値	1.775986
1回目(Q16-1)	3.56944	自由度	71
差の平均	0.19444	p 値(Prob> t )	0.0800
標準誤差	0.10949	p 値(Prob>t)	0.0400*
上側 95%	0.41275	p 値(Prob<t)	0.9600
下側 95%	-0.0239		

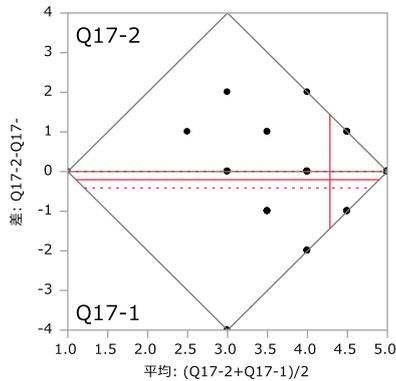
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	4	4.3%	4	5.1%	1	1.1%	4	4.6%
思わない(2)	9	9.8%	6	7.6%	7	7.6%	6	6.9%
普通(3)	24	26.1%	27	34.2%	31	33.7%	23	26.4%
そう思う(4)	28	30.4%	18	22.8%	21	22.8%	19	21.8%
よくそう思う(5)	27	29.3%	24	30.4%	32	34.8%	35	40.2%
合計	92	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	5		18		5		10	



Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。

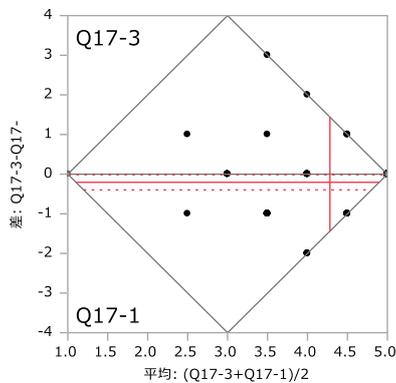
Q17については、2回目、3回目において明らかにネガティブな変化が生じた様子がうかがえる。ただし4回目は1回目と同程度の回答傾向に戻っている。

### 1回目と2回目



2回目(Q17-2)	4.17808	t 値	-1.95745
1回目(Q17-1)	4.38356	自由度	72
差の平均	-0.2055	p 値(Prob> t )	0.0542
標準誤差	0.10497	p 値(Prob>t)	0.9729
上側 95%	0.00378	p 値(Prob<t)	0.0271*
下側 95%	-0.4147		

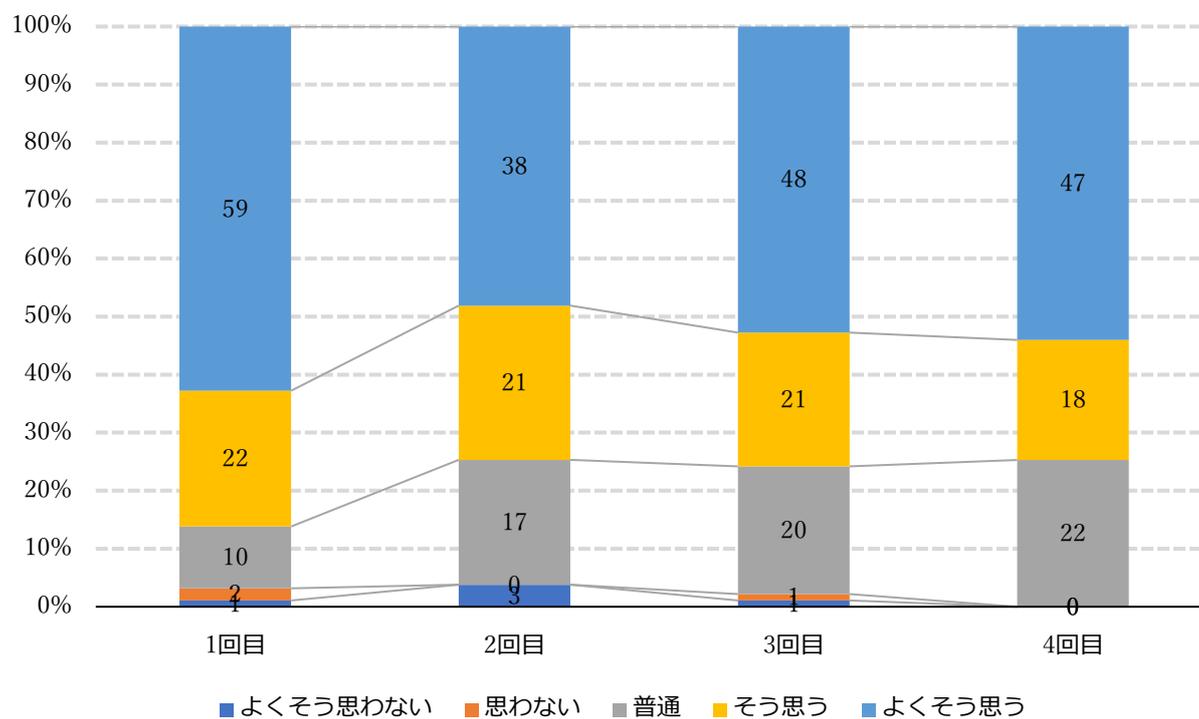
### 1回目と3回目



3回目(Q17-3)	4.17808	t 値	-2.15203
1回目(Q17-1)	4.38356	自由度	72
差の平均	-0.2055	p 値(Prob> t )	0.0347*
標準誤差	0.09548	p 値(Prob>t)	0.9826
上側 95%	-0.0151	p 値(Prob<t)	0.0174*
下側 95%	-0.3958		

Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。

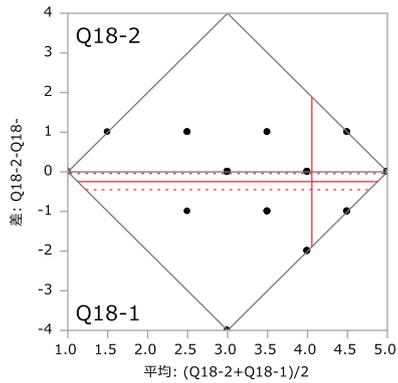
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	1	1.1%	3	3.8%	1	1.1%	0	0.0%
思わない(2)	2	2.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
普通(3)	10	10.6%	17	21.5%	20	22.0%	22	25.3%
そう思う(4)	22	23.4%	21	26.6%	21	23.1%	18	20.7%
よくそう思う(5)	59	62.8%	38	48.1%	48	52.7%	47	54.0%
合計	94	100.0%	79	100.0%	91	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		18		6		10	



Q18. 本音を話せる人がいる

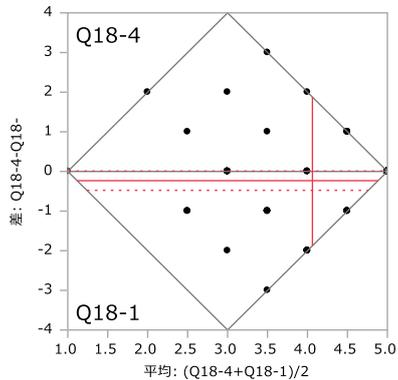
Q18 については、2 回目、4 回目において明らかにネガティブな変化が生じた様子が見える。

1 回目と 2 回目



2 回目(Q18-2)	3.93151	t 値	-2.39822
1 回目(Q18-1)	4.17808	自由度	72
差の平均	-0.2466	p 値(Prob> t )	0.0191*
標準誤差	0.10282	p 値(Prob>t)	0.9905
上側 95%	-0.0416	p 値(Prob<t)	0.0095*
下側 95%	-0.4515		

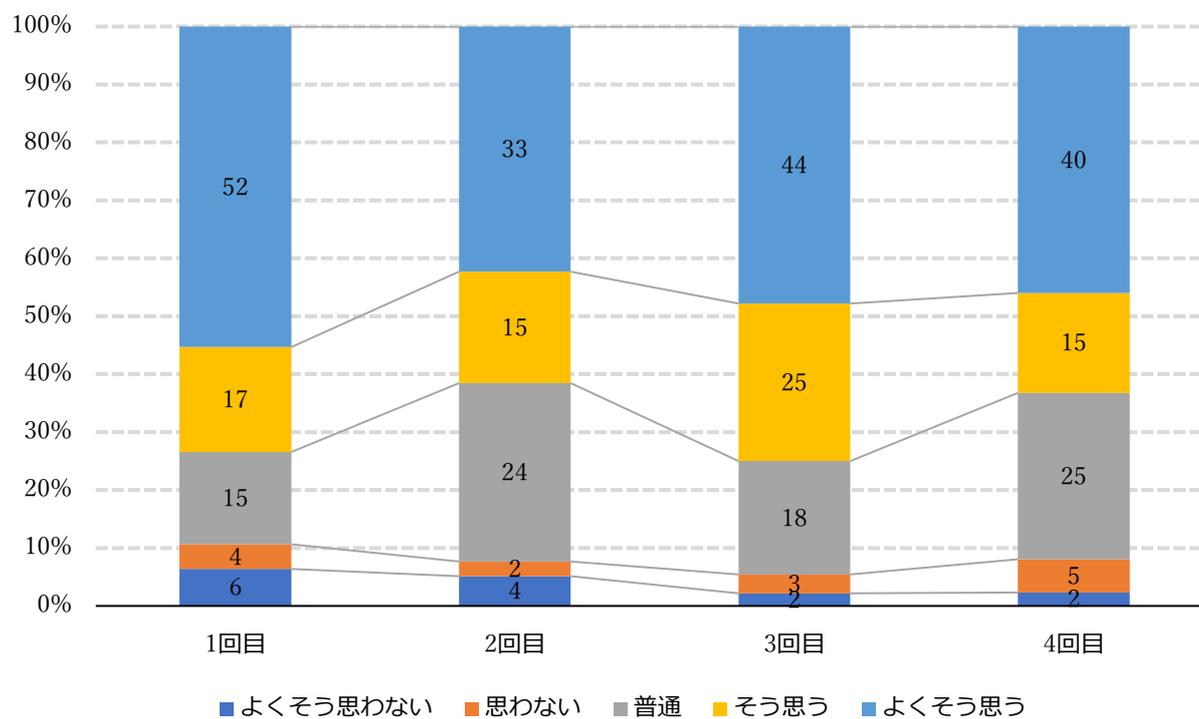
1 回目と 4 回目



4 回目(Q18-4)	3.94521	t 値	-1.89901
1 回目(Q18-1)	4.17808	自由度	72
差の平均	-0.2329	p 値(Prob> t )	0.0616
標準誤差	0.12263	p 値(Prob>t)	0.9692
上側 95%	0.01158	p 値(Prob<t)	0.0308*
下側 95%	-0.4773		

Q18. 本音を話せる人がいる

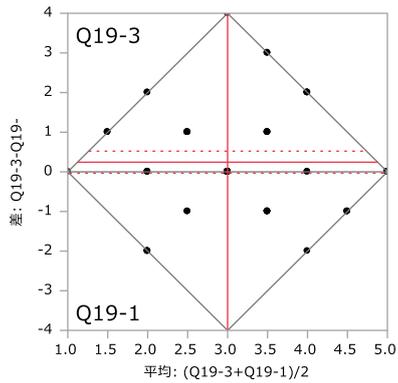
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	6	6.4%	4	5.1%	2	2.2%	2	2.3%
思わない(2)	4	4.3%	2	2.6%	3	3.3%	5	5.7%
普通(3)	15	16.0%	24	30.8%	18	19.6%	25	28.7%
そう思う(4)	17	18.1%	15	19.2%	25	27.2%	15	17.2%
よくそう思う(5)	52	55.3%	33	42.3%	44	47.8%	40	46.0%
合計	94	100.0%	78	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		19		5		10	



Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。

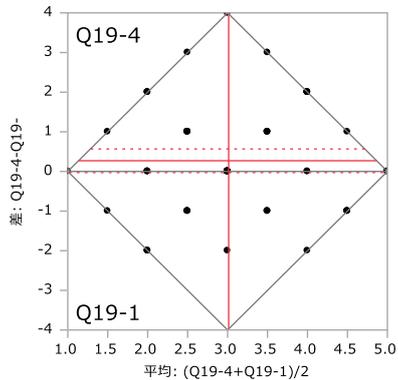
Q19 については、3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子がうかがえる。

### 1 回目と 3 回目



3 回目(Q19-3)	3.12162	t 値	1.739569
1 回目(Q19-1)	2.87838	自由度	73
差の平均	0.24324	p 値(Prob> t )	0.0861
標準誤差	0.13983	p 値(Prob>t)	0.0431*
上側 95%	0.52192	p 値(Prob<t)	0.9569
下側 95%	-0.0354		

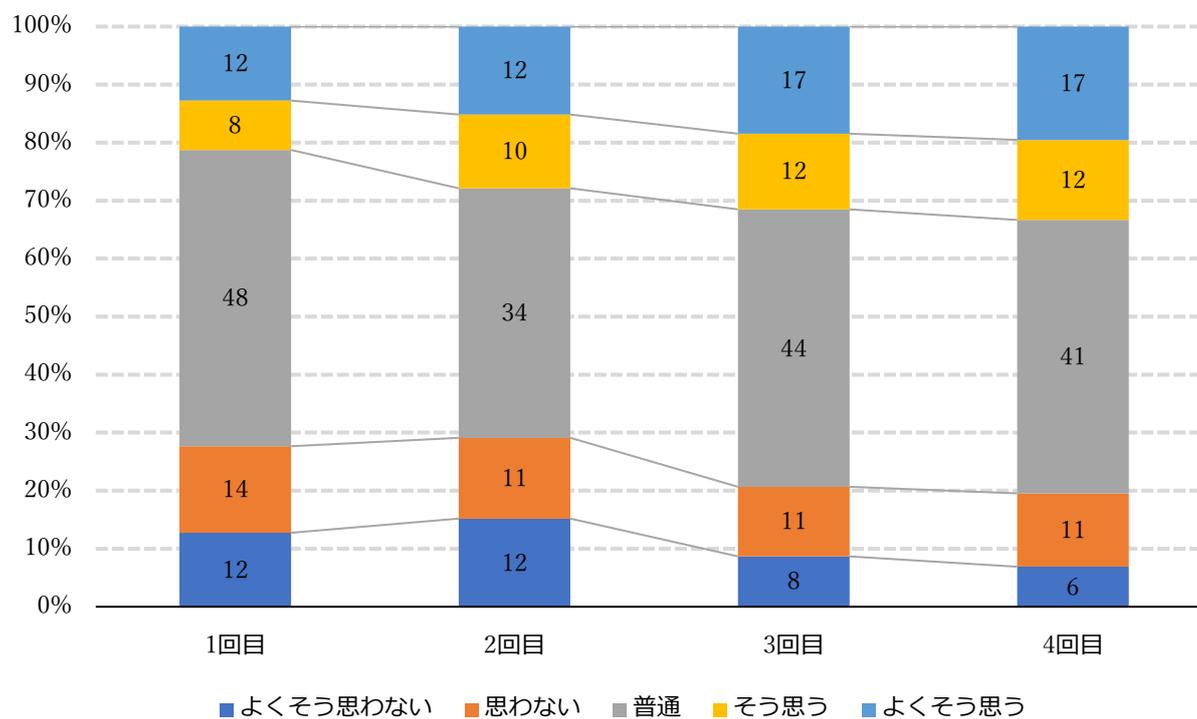
### 1 回目と 4 回目



4 回目(Q19-4)	3.14865	t 値	1.808888
1 回目(Q19-1)	2.87838	自由度	73
差の平均	0.27027	p 値(Prob> t )	0.0746
標準誤差	0.14941	p 値(Prob>t)	0.0373*
上側 95%	0.56805	p 値(Prob<t)	0.9627
下側 95%	-0.0275		

Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。

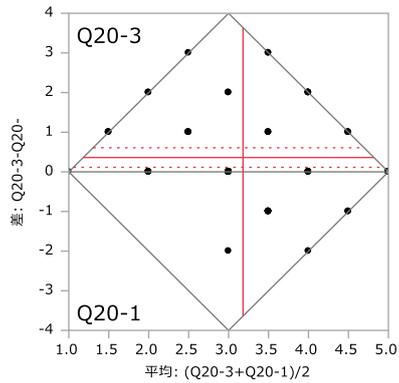
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	12	12.8%	12	15.2%	8	8.7%	6	6.9%
思わない(2)	14	14.9%	11	13.9%	11	12.0%	11	12.6%
普通(3)	48	51.1%	34	43.0%	44	47.8%	41	47.1%
そう思う(4)	8	8.5%	10	12.7%	12	13.0%	12	13.8%
よくそう思う(5)	12	12.8%	12	15.2%	17	18.5%	17	19.5%
合計	94	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		18		5		10	



Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。

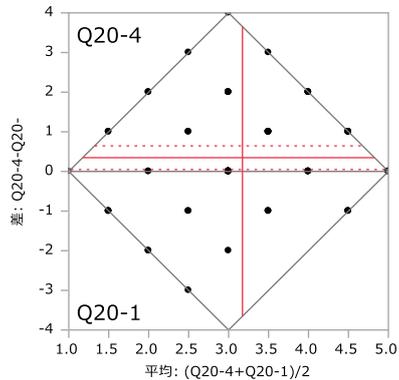
Q20 については、3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子が見える。

### 1 回目と 3 回目



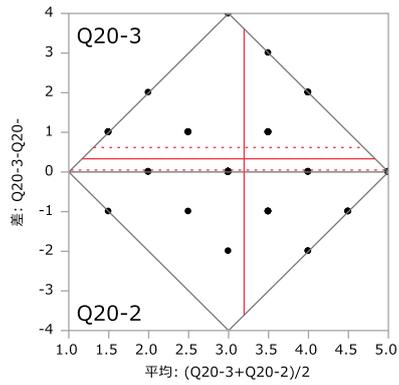
3 回目(Q20-3)	3.36111	t 値	2.91202
1 回目(Q20-1)	3	自由度	71
差の平均	0.36111	p 値(Prob> t )	0.0048*
標準誤差	0.12401	p 値(Prob>t)	0.0024*
上側 95%	0.60837	p 値(Prob<t)	0.9976
下側 95%	0.11385		

### 1 回目と 4 回目



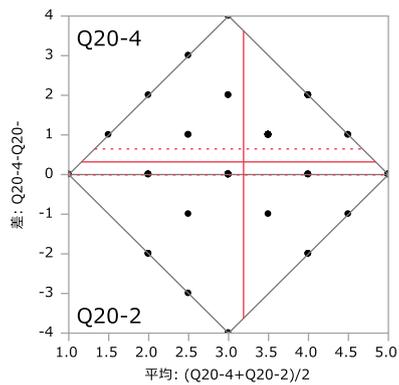
4 回目(Q20-4)	3.34722	t 値	2.321897
1 回目(Q20-1)	3	自由度	71
差の平均	0.34722	p 値(Prob> t )	0.0231*
標準誤差	0.14954	p 値(Prob>t)	0.0116*
上側 95%	0.6454	p 値(Prob<t)	0.9884
下側 95%	0.04904		

### 2回目と3回目



3回目(Q20-3)	3.36111	t 値	2.336993
2回目(Q20-2)	3.02778	自由度	71
差の平均	0.33333	p 値(Prob> t )	0.0223*
標準誤差	0.14263	p 値(Prob>t)	0.0111*
上側 95%	0.61774	p 値(Prob<t)	0.9889
下側 95%	0.04893		

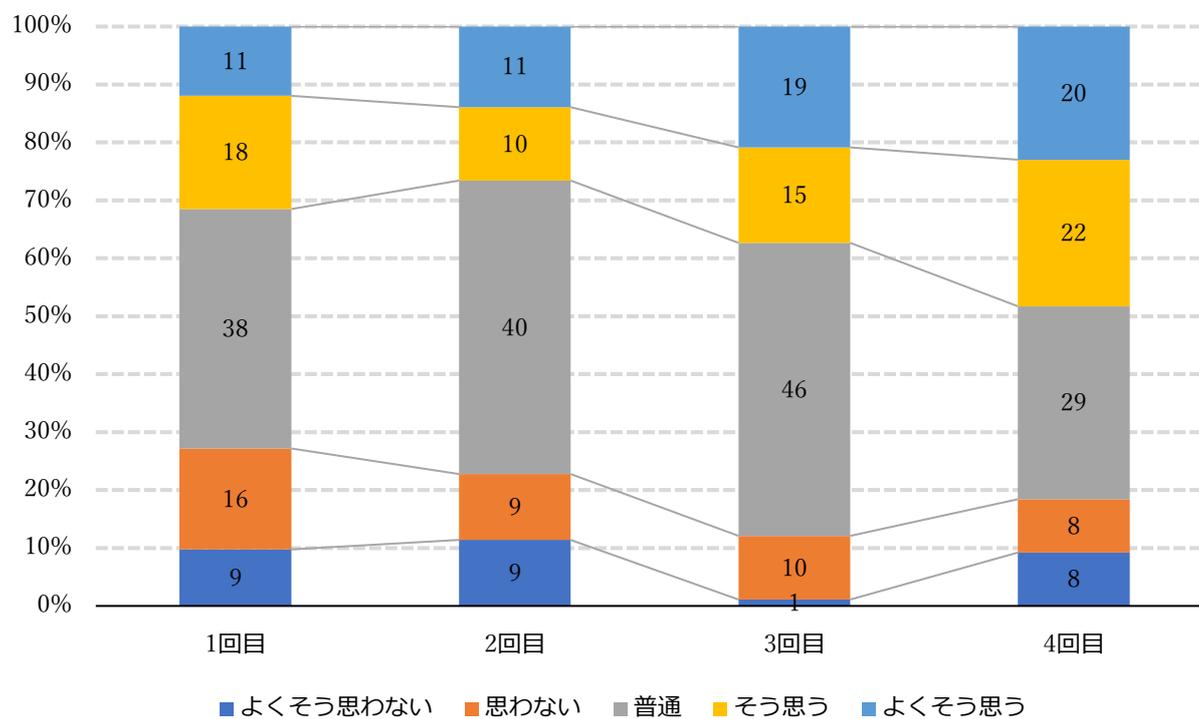
### 2回目と4回目



4回目(Q20-4)	3.34722	t 値	1.946697
2回目(Q20-2)	3.02778	自由度	71
差の平均	0.31944	p 値(Prob> t )	0.0555
標準誤差	0.1641	p 値(Prob>t)	0.0278*
上側 95%	0.64664	p 値(Prob<t)	0.9722
下側 95%	-0.0078		

Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。

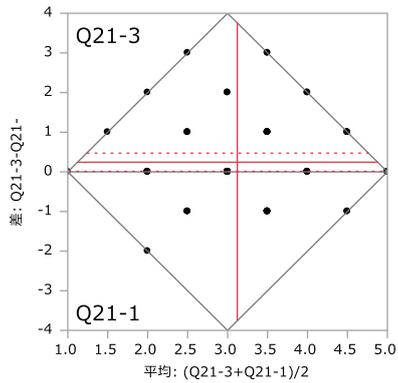
	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	9	9.8%	9	11.4%	1	1.1%	8	9.2%
思わない(2)	16	17.4%	9	11.4%	10	11.0%	8	9.2%
普通(3)	38	41.3%	40	50.6%	46	50.5%	29	33.3%
そう思う(4)	18	19.6%	10	12.7%	15	16.5%	22	25.3%
よくそう思う(5)	11	12.0%	11	13.9%	19	20.9%	20	23.0%
合計	92	100.0%	79	100.0%	91	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	5		18		6		10	



Q21. 相談を受けることが多い

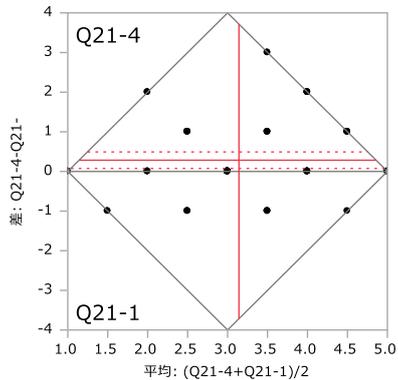
Q21 については、3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた様子が見えてくる。

1 回目と 3 回目



3 回目(Q21-3)	3.24324	t 値	2.112497
1 回目(Q21-1)	3	自由度	73
差の平均	0.24324	p 値(Prob> t )	0.0381*
標準誤差	0.11514	p 値(Prob>t)	0.0190*
上側 95%	0.47273	p 値(Prob<t)	0.9810
下側 95%	0.01376		

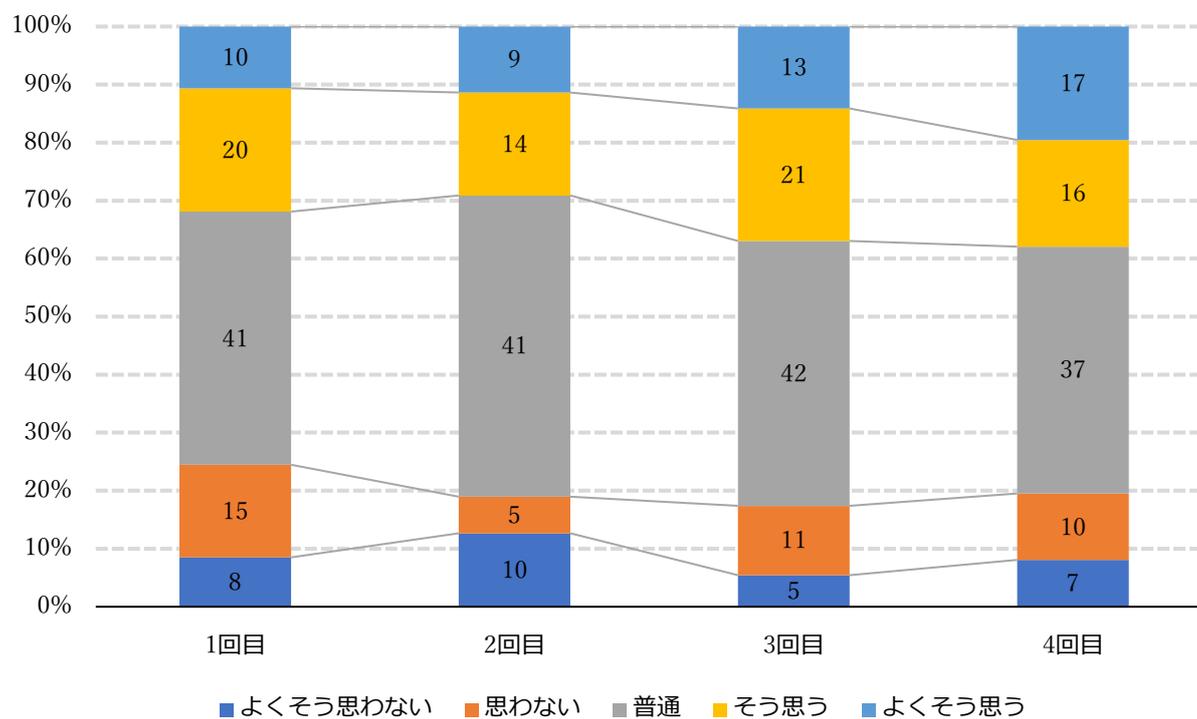
1 回目と 4 回目



4 回目(Q21-4)	3.28378	t 値	2.714499
1 回目(Q21-1)	3	自由度	73
差の平均	0.28378	p 値(Prob> t )	0.0083*
標準誤差	0.10454	p 値(Prob>t)	0.0041*
上側 95%	0.49214	p 値(Prob<t)	0.9959
下側 95%	0.07543		

Q21. 相談を受けることが多い

	1回目		2回目		3回目		4回目	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合
よくそう思わない(1)	8	8.5%	10	12.7%	5	5.4%	7	8.0%
思わない(2)	15	16.0%	5	6.3%	11	12.0%	10	11.5%
普通(3)	41	43.6%	41	51.9%	42	45.7%	37	42.5%
そう思う(4)	20	21.3%	14	17.7%	21	22.8%	16	18.4%
よくそう思う(5)	10	10.6%	9	11.4%	13	14.1%	17	19.5%
合計	94	100.0%	79	100.0%	92	100.0%	87	100.0%
欠測値 N	3		18		5		10	



・ 回を重ねることで明らかにポジティブな回答となった質問

Q2. 自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う

4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q3. 今の自分自身の時間の使い方に意義を感じられている

3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q4. 満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う

4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q6. 偏見をつまらないものだと感じる

4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q9. 初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている

3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q15. 言葉が通じなくても楽しめる

4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q19. リアルな授業よりオンライン授業の方が好きだ。

3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q20. どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。

3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

Q21. 相談を受けることが多い

3 回目、4 回目において明らかにポジティブな変化が生じた

・ 回を重ねる中で上下の変化があった質問

Q7. 友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている

2 回目においてだけポジティブな回答の割合が減っている。ただし欠測値の影響の可能性もある。

Q8. 先生と円滑なコミュニケーションをとることができている

2 回目においてだけポジティブな回答の割合が減っている。ただし欠測値の影響の可能性もある。

Q11. 色々な人とコミュニケーションを取ることが自分の人生に有効であると思う

2 回目、3 回目においてポジティブな回答の割合が減っている。

実際の難しさを実感したことによる影響か。4 回目には 1 回目と同程度の回答傾向に戻っている。

Q12. 初めてのことで回数を重ねると出来るようになると思う

2 回目、3 回目においてポジティブな回答の割合が減っている。

実際の難しさを実感したことによる影響か。4 回目には 1 回目と同程度の回答傾向に戻っている。

Q16. みんなと協力することが好きだ

3 回目において明らかにネガティブな回答が減っている。

4 回目は 1 回目や 2 回目と同程度の回答傾向に戻っている。

Q17. 自分の人生を自分で決めていきたい。

2 回目、3 回目において明らかにネガティブな変化が生じた様子が見える。

4 回目は 1 回目と同程度の回答傾向に戻っている。

Q18. 本音を話せる人がいる

2 回目、4 回目において明らかにネガティブな変化が生じた様子が見える。

□目標に対する本年度の結果

目 標	本年度の結果
<p>生徒の自尊感情の向上 能動的な姿勢の構築</p>	<p>分析結果より、“自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う”“偏見をつまらないものだと感じる”“満足のいく人生を送るために学び続けたいと思う”“どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ”のアンケートに有意差が出ていることから、コーチング的アプローチのワークや地域で初めて会った方へのインタビュー訪問がポジティブな結果の要因になったと思われる。また、記述式アンケートより、チームメンバーの魅力を書きあうワークにおいて「嬉しかった」「自分では気づかなかった」という感想が多く、自分の魅力を他者から伝えられる手法によって、多視点を得て、自尊心向上につながったと考えられる。</p> <p>バーチャル空間においては、プライベートの相談や遊びの提案、みんなを率いて違うワールドへ行こう！と提案するなど、積極的な行動が生まれ、毎回「次は何する？」という質問に答える生徒が増えていった印象がある。「実際に M ラボで会おう」というリアルでの繋がり提案もあった。</p> <p>また、市役所 HP へ掲載の動画編集を公募したところ立候補した生徒が出たことは能動的な姿勢の構築そのものと言える。</p>
<p>コーチングによる行動に繋がるマインドセットの醸成</p>	<p>分析結果より“自分の欠点や能力のなさを無条件で受け入れられるとしたら、今の行動に変化は起きると思う”“言葉が通じなくても楽しめる”において、ポジティブな有意差が出ている。また、“色々な人とコミュニケーションを取ることは自分の人生に有効であると思う”“初めてのことで回数を重ねると出来るようになると思う”“自分の人生を自分で決めていきたい”においては、3回目4回目のアンケートが地域訪問後のものであること、進路決定の最中であることなど、様々な要因があるものの、最終的に当初と同じところに回復している。実際の経験を経た長い視点での振り返りで改めて見直した結果であり、体験からのマインドセットの醸成になっている。</p> <p>最終授業の振り返りの記述式アンケートの中で「行動するとその先はどうなりそうですか」に対して89%の生徒がポジティブなイメージを持った回答をしたことより、マインドセットの醸成が促進されたと思われる。また、地域への訪問に対しても「実際に訪問して楽しかった」「〇〇さんのチームでよかった」「実際に話してみたらいい人だった」など行動によるポジティブな感情体験を重ねることが出来た。</p> <p>バーチャル空間においては、入室して一定の人が集まるまでは自由に飛び跳ねたりしているものの、1人が声をかけると一緒になって遊び、一緒に写真を撮るという個の自由と、チームとしての振る舞いがストレスなくできていた。</p>

<p>地域の人との協働創造による人間関係への自信構築</p>	<p>分析結果において、“友人と円滑なコミュニケーションを取ることができている”“先生と円滑なコミュニケーションをとることができている”“色々な人とコミュニケーションを取るとは自分の人生に有効であると思う”において変動があるものの回復、“初めて会った人と円滑なコミュニケーションをとることができている”“どんなタイプな人でもうまく付き合えるほうだ。”“相談を受けることが多い”においてはポジティブな有意差が出ており、グループでの協働創造、オンラインでのゲストおよび地域の人との継続的な交流で心の変化はある中で、最終的な自信構築に繋がっていることがわかる。最終授業での振り返りでは「私も頑張ろうと思った」「動画を喜んでくれて嬉しかった」「みんなで協力してできた」「入賞するね！と言ってくれて嬉しかった」など多くの生徒がポジティブな感想を書いた。また、観光協会への動画放映の翌日にすぐに生徒が観光協会へ見に行ったことや、市役所 HP に載せる授業の動画編集を公募したところ生徒が立候補をしたことは、人間関係への自信が表在化したといえる。</p>
<p>プラットフォームの開発</p>	<p>生徒主体でバーチャル空間を創り、動画鑑賞を楽しみ、公のバーチャル空間にみんなで遊びに行くなど、多様なバーチャル体験ができたが、外部との新たなプラットフォーム構築には至らなかった。一方で、クローズドのメタバースへの参加回数を重ねていくうちに主体的な提案をしてくる生徒が増え、動画鑑賞用のバーチャル空間は3人の生徒を中心に期限内に完成させた。現実にあるMラボという教室を忠実に再現した。</p> <p>現実の中で作成した動画をメタバース内で鑑賞することで、現実との接点が生まれた。明誠高校のInstagramにメタバース上で行った鑑賞会について投稿をすることで、メタバースの取り組みが学外に知られることとなった。今後は、バーチャル作成者やバーチャル空間内でリーダーシップを取り始めた生徒を中心に、学外と繋げる課題を主体的アイデアで実践する形を目指していく。</p>
<p>プラットフォームの周知と利用拡大</p>	<p>プラットフォーム参加において、地域の方のメリットに比して、アプリダウンロードや更新設定など負担が大きく、プラットフォームの利用を外部に繋げることはできなかった。今後は、例えば地元中小企業など高卒生と繋がりを持つことによる人材確保といったメリットとのマッチングをベースにしていくことも視野に入れる必要がある。今回の授業で繋がりのできた観光協会や市役所とも連携をはかっていきたい。また、他校との交流については、時間を合わせる事が難しく、事前による授業時間のすり合わせが重要であると感じた。学校が空いている時間での交流メリットを構築したうえで、利用拡大を模索していく必要がある。</p>

## □最後に

今年度の ICT 授業は、「高校生 3 年生という義務教育から卒業する学年＝社会に対して行動する」をベースに、リアルな地域の人との交流を通じて「見つける（きっかけ）→知る（訪問とインタビュー）→伝える（動画作成発信）」という行動を対面のハイブリッド授業で行った。昨年度に引き続き、コーチングアプローチを実施しながら、地域に出る行動、動画作成を通じて、SNS や観光協会での放映などで、自分たちの創造物が社会に出ることを体験するプログラムとした。

地域の人たちとの交流はビデオメッセージで 2 回、対面の訪問撮影で 2 回、発表会（任意参加）の 2 回で計 6 回あったが、生徒たちのアンケートから「実際に地域の人を訪問して緊張したけど楽しかった」という感想が多くみられ、地域の方たちからは「初回は言葉数が少なかったが、2 回目はいろんな話が出来た」など回数を重ねることで、交流への安心感や深まりが見られた。また、最後の授業で、地域の方から生徒へのメッセージ動画を流したところ「すごく嬉しかった」「感動した」「頑張ろうと思った」「またやりたいと思った」「〇〇さんに出会えてよかった」「チャレンジをして成長したい」といった前向きな回答が 64% となった。そして、最後の授業での「行動する」という講話後のアンケートでは「行動するとどのようになると思うか」の問いに関して「選択肢が広がる」「良くなる」「楽しい未来になると思う」「自信がつく」など 89% が前向きな感想を抱いたことが分かり、主体的なマインド構築が出来たと思われる。

分析結果においてもポジティブな変化が著名となっており、オンラインだけではなく地域の人への訪問というリアルとのハイブリットの交流は、様々な人との出会いのハードルを下げることに繋がり、自己効力感をあげると考えられた。また、ポジティブな変化に転じているのはアンケート 3 回目以降であり、数か月の継続的な関わりが有効であると思われた。

外部講師のオンライン授業で多くの生徒が集中し自己表現をしようとしていた授業がある。前半を無音で行った聴覚障害者の講話であった。自然と手話の拍手をする生徒が増え、画面を見て理解しようとし、質問タイムでは手話や読唇術を使って交流しようとする姿勢が見られた。このように様々なコミュニケーションツールを持つ人との交流は、オンラインの画面との世界に入り込み集中すると、出来ているかどうかという比較は意識に上がってこず、生徒の意欲を沸き立たせることとなった。記述式アンケートでも、読唇術の驚きやゲストの笑顔についての感想が多かった。今年度の授業では、出会ったことのない地域の人、生徒の年齢と近い 21 歳ルワンダ在住三好花奈さん、地域との活動に精通している大畑伸幸さん、聴覚障害者の佐々木優佳さん、プロの映像ディレクターシャンソンさんを外部講師に迎えて、様々なゲストとの心的距離間、コミュニケーションツール、興味関心を体験した。人との交流はオンライン、動画メッセージ、リアルというグラデーションの中で回数を重ねることで深まり安心や興味に繋がり、自然に主体的行動に発展する傾向がみられた。

地域への広がりとして、観光協会から「放映翌日に生徒が観光協会に見に来た」、地域の協力者から「さっそく観光協会に見に行きます」と連絡が来た。双方にとって、共同創造した作品が地域に出ることは自然と行動へと結びつき、普段生徒が地元の人が足を運ばない観光協会との繋がりをつくることとなった。

今回、前年度の「人前に出ることが苦手」という生徒がいた反省点を生かして、ゲストへの質問や記述式アンケート、投票に iPad の活用を試みたが、多くの生徒にとって、iPad での作業が慣れていない印象がみられ、交流の活性化や回収率の向上は見られなかった。生徒の現状にあった段階的な ICT 活用を今後も検討していくことが必要である。

今年度のメタバースは、安心安全な空間作りと地域の方との交流を授業以外でも可能にする目的で、用いた。参加に関しては自主性に任せ、校内の案内ツールを用いてアナウンスした。前半はメタバース内で共に遊び、話をして、“楽しい空間”づくりを行った。その中で、プライベートの相談事もあり、その生徒はメタバースで相談した翌日に先生に、「講師の玉置に相談したい」と行動をおこした。また、夏休み中には「部活に行きたくない」という本音を話す生徒もいた。メタバースでは、相手の表情が見えないことでお互いを察することが出来ない。そのため、相手の状況がわからないが故に回答を待つ傾向見られ、少し踏み込んだ質問に関しても何かしら答えるという姿勢が見られた。メタバースでは、別の仮想空間に移動する際や最後に必ず集合写真を撮ること、チームプレイが必要なゲーム体験を重ねたことで一体感が増していったと思われる。「楽しいからまた参加した」という声もきかれ、普段もバーチャル空間で遊び、メタバース内で外部の友達が出来たという生徒もいた。夏にバーチャル空間で鬼ごっこをした際に「ここだと汗だくにならんし疲れんわ」という生徒がおり、バーチャル空間で遊ぶことのメリットも感じていた。記述式アンケートから「知っている人が1人でもいると参加しやすい」という回答があり、リアルとの繋がりがあることで参加しやすくなる傾向があった。逆に、実際に講師が学校に行った際に、初対面にもかかわらず、「和牛（メタバース上のニックネーム）です」と話しかけてきた。リアルであろうとバーチャル空間であろうと何らかの繋がりがあることで、別次元の空間で出会ったときのコミュニケーションのハードルは下がることが分かった。また、回数を重ねていくと、生徒の1人が「ワールドに行こう」と呼びかけ、事前に生徒が体験したことのあるワールドにみんなを連れていくことがあった。メタバース上での見た目や役割から解かれた安心した楽しい繋がり、現実でのコミュニケーションを促進することとなった。

動画鑑賞用のバーチャル空間を自由に創り、本体の授業内で作成した動画の鑑賞会を行ったことは、現実と仮想空間の繋がりを生み出しこととなった。今回は、地域の人もバーチャル空間内に招待し交流する予定であったが、①アプリのダウンロードの容量が大きい②生徒の参加人数が少なく必ずしも自分の動画チームの生徒がいるとは限らない③生徒のバーチャル空間でのコミュニケーションの慣れが必要という3点より、今回は見送り、参加生徒を観察し、生かしていくことにフォーカスした。

今回の授業は、対面・オンライン・動画メッセージ・メタバースのハイブリッドにより交流のグラデーションを体験することで、対面でのハードルが下がり、緩やかな繋がりから主体的行動を起こすこととなった。交流のグラデーションと交流頻度は、主体的行動に寄与し、過疎地域においてITCは無くならない。その中でもメタバースは、バーチャル世界に身を置くことが多い生徒にとって、グラデーションの大切な基盤となり、現実世界への架け橋になると考えられた。

ICTを授業に取り入れることは、過疎地域において、未知の世界や人へと繋がる機会提供となった。一方でメタバースでは講義ではなく、現実世界での交流のハードルを低くするための場として活用することが望ましいと思われた。それは、分析結果で、“自分の人生を自分で決めていきたい”“本音を話せる人がいる”において、ネガティブとポジティブな回答が起きたように、実際の地域への訪問などを経て心の揺らぎが起こり、その際に役割や外見から解かれた場があることは重要だと思われるからである。このように、数か月以上でのハイブリッドの交流は、心の動きと共に現実社会に慣れていくことに対して有用であると思われる。

今後もハイブリッド授業により、オンラインで繋がる様々な人や世界に触れる機会提供と同時に、身近な地域の人との交流を組み合わせ、交流のグラデーションと頻度を重ね、主体的に社会に行動するプログラムを続けていく所存である。